

平成26年度

機構図及び事務分掌

道 路 局

道 路 局
局 長(技)手 塚 文 雄
(2740)

副 局 長(技)高 木 勇 一
(2741)

総 務 部
部 長 < 副 局 長 兼 務 >

計 画 調 整 部
部 長(技)松 尾 寛
(2745)

総 務 課
課 長(事)大 森 健 志
(2742)
<危機管理推進担当兼務>
担当課長(事)野 坂 高 志
(調整担当、2894)

交 通 安 全 ・
放 置 自 転 車 課
課 長(事)富 井 み どり
(2775)
担当課長(事)大 石 貴 宏
(2294)

企 画 課
課 長(技)曾 我 幸 治
(2746)
担当課長(技)上 野 慶
(計画調整担当、2937)
担当課長(技)清 水 裕 之
(交通計画担当、2755)
担当課長(技)上 田 祐 一 郎
(鉄道交差調整担当、2757)

技 術 監 理 課
課 長(技)山 口 彰 夫
(2754)

担当係長(技)志 藤 秀 幸
【主担任:技術監理業務】
担当係長(技)森 高 次
【主担任:検査業務】

庶 務 係
係 長(事)佐 藤 亜 希 子

担当係長(事)福 山 郁 敏
【主担任:交通安全対策業務】
担当係長(事)中 山 孝 之
担当係長(事)田 川 忠 幸
【主担任:放置自転車対策業務】

担当係長(事)橋 本 潤 吾
【主担任:調整業務】
担当係長(技)西 岡 毅
【主担任:街路・道路業務】
担当係長(技)石 井 高 幸
【主担任:企画業務】

- 1 土木工事に関する技術基準等の作成並びに指導及び研修(他の局、部の主管に属するものを除く。)
- 2 土木工事に係る設計単価、歩掛り等の作成及び調整
- 3 局所管の請負工事(道路の附属物としての照明施設等及び道路用エレベーター等(以下「道路照明施設等」という。))に係る工事並びに河川施設の機械、電気及び建築工事を除く。)の検査及び局所管の請負工事等の安全管理等
- 4 局所管の国庫補助事業に係る会計実地検査の連絡調整
- 5 その他技術監理

- 1 局内の文書
- 2 局内の事務事業の連絡調整
- 3 道路に関する諸団体との連絡調整
- 4 局事業の啓もう
- 5 局の危機管理
- 6 他の部、課、係の主管に属しないこと

- 1 自転車等の放置防止対策及び放置防止に係る総合調整
- 2 自転車等対策事業指針
- 3 自転車駐車場設置に係る調整
- 4 自転車駐車場及び保管場所の運営管理
- 5 民営自転車駐車場の整備助成
- 6 交通安全対策の企画及び連絡調整
- 7 交通安全の普及及び奨励
- 8 交通安全運動
- 9 違法駐車等の防止対策
- 10 横浜市交通安全対策会議
- 11 交通関係の調査、資料の収集
- 12 交通安全対策に係る関係行政機関及び関係諸団体との連絡調整

担当係長(技)守 谷 俊 輔
担当係長(事)中 村 昭 夫
(計画調整担当)
担当係長(技)山 形 珠 実
担当係長(技)高 橋 陽 太
(交通計画担当)
担当係長(技)齊 藤 幸 司
担当係長(技)宮 本 康 司
(鉄道交差調整担当)

- 10 地域交通サービスに係る事務
- 11 道路事業に係る総合調整
- 12 局所管の国直轄事業に係る国等との連絡調整
- 13 都市計画道路用地の先行取得の調整
- 14 一般財団法人横浜市道路建設事業団
- 15 踏切道改良事業の調整
- 16 道路と鉄道との立体交差事業の計画及び調整
- 17 鉄道建設に伴う道路に係る調整
- 18 鉄道立体化事業
- 19 株式会社横浜シーサイドライン
- 20 局の事務事業の広報等の企画、調整及び実施
- 21 道路整備事業に伴う普通財産の貸付け及び処分に係る契約(財政局管財部管財課及び取得処分課の主管に属するものを除く。)
- 22 横浜市道路高架下等利用計画検討会
- 23 部内他の課の主管に属しないこと

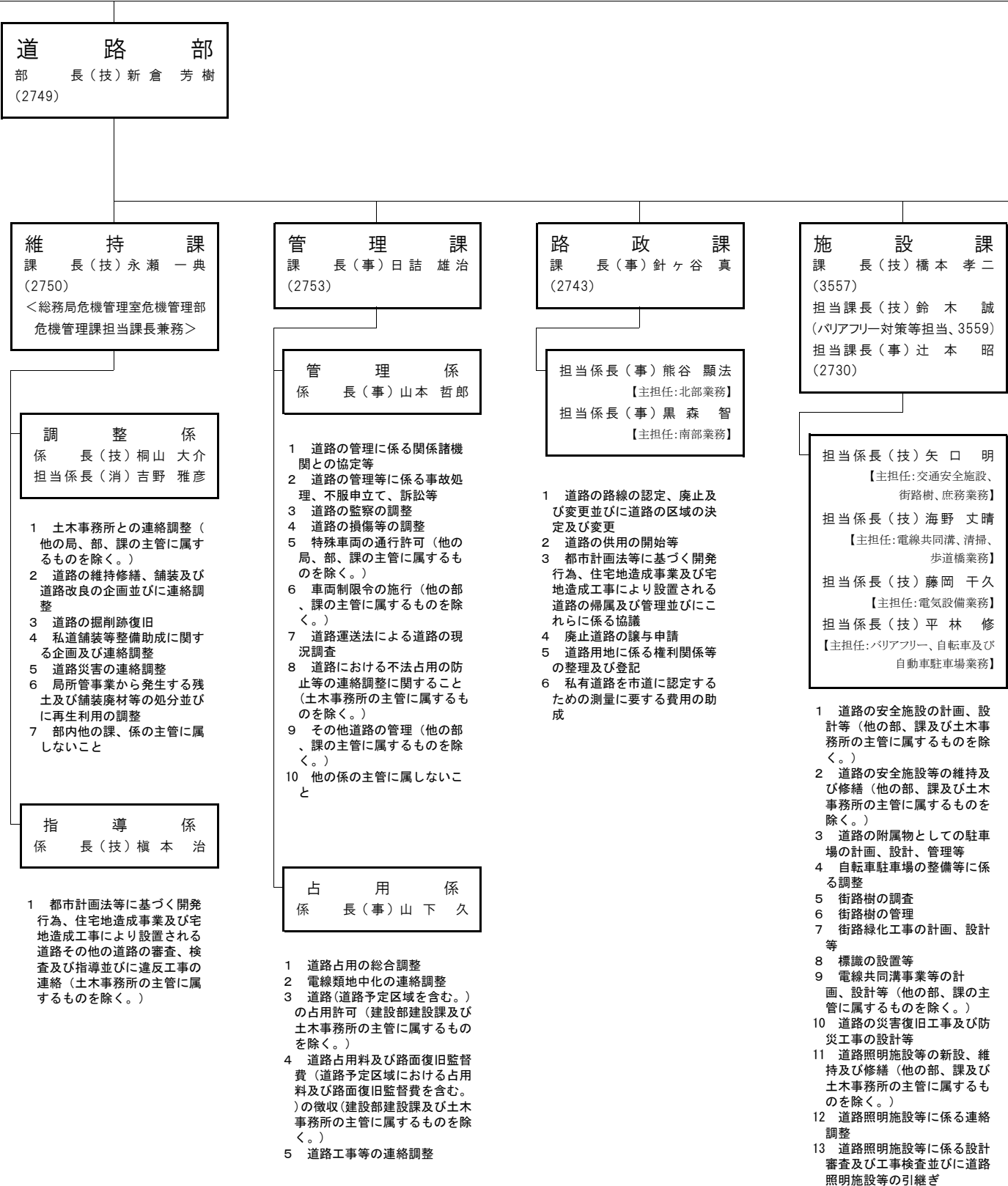
職 員 係
係 長(事)池 上 省 吾

- 1 局内の人事
- 2 職員の勤務条件及び給与
- 3 職員の福利厚生
- 4 職員の衛生管理
- 5 職員の研修計画及び実施(他の課の主管に属するものを除く。)
- 6 その他労務

経 理 係
係 長(事)山 下 陸 幸

- 1 局内の予算及び決算
- 2 局内の予算執行の調整
- 3 公共土木事業の連絡調整
- 4 局内の諸契約
- 5 局内の物品及び資材の出納保管
- 6 その他経理

- 1 道路事業(土地区画整理事業に係るものを除く。)の企画及び基本計画の策定並びに実施計画の調整
- 2 道路事業(土地区画整理事業に係るものを除く。)の執行調整及び国庫補助申請等
- 3 都市計画道路の計画
- 4 都市計画道路の事業認可に係る原案の調整
- 5 駅前広場の計画
- 6 菊名駅自由通路改良事業及び京急蒲田駅総合改善事業に関すること
- 7 道路改良事業を伴う交通結節点の実施計画、整備及び調整に関すること
- 8 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進のためのバリアフリー基本構想等
- 9 バス交通等の交通施策調整



担当理事(技)池本裕生
(横浜環状道路、3638)

建設部

部長(技)松下信男
(3960)

**横浜環状道路
調整部**

部長(技)古山諭
(2889)

道路調査課
課長(技)細谷宗史
(2744)

調査係
係長(事)高荷勝宏

- 1 道路等と民地との境界調査に係る調整(土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 2 市境における道路等と民地との境界の調査
- 3 市境における境界調査図の謄本の交付及び道路等と民地との境界の承認
- 4 道路台帳図等の謄本の交付及び境界の承認
- 5 局に属する財産の管理及び調整(他の部、課の主管に属するものを除く。)
- 6 道路に関する資料の収集、調査及び統計
- 7 道路台帳の閲覧
- 8 他の係の主管に属しないこと

道路台帳係
係長(技)山口次男

- 1 道路台帳の整備及び閲覧
- 2 公共基準点
- 3 局主管事務事業に係る測量の技術的指導及び調整

建設課
課長(技)柳井和彦
(2747)

- 担当課長(事)梶家経雄(用地担当、2787)
- 担当課長(事)佐々木恒夫(用地担当、3497)
- 担当課長(技)関戸義仁(横浜環状北西線建設担当、2798)
- 担当課長(事)武正義(横浜環状北西線用地担当、2734)

担当係長(事)鈴木勝
(用地担当)

【主担任:庶務・経理業務】

- 担当係長(技)落合潔
- 担当係長(技)塚田浩一
- 担当係長(技)周治諭
- 担当係長(技)古性敏幸
- 担当係長(技)大橋男

【主担任:建設業務】

- 担当係長(事)国本貴志
- 担当係長(事)吉田壽男
- 担当係長(事)武内善秋
- 担当係長(事)小長谷均
- 担当係長(事)富田雅信
- 担当係長(事)中村治之
- 担当係長(事)仲恭志(用地担当)
- 担当係長(技)松本英之
- 担当係長(技)木村修平
- 担当係長(技)小島岳生
- 担当係長(技)本橋康武(横浜環状北西線建設担当)
- 担当係長(事)羽田雅行
- 担当係長(事)山田勇
- 担当係長(事)矢部艦一
- 担当係長(事)堀内誠
- 担当係長(事)加藤正司
- 担当係長(事)川口道生
- 担当係長(事)酒井茂則
- 担当係長(事)堀井雅之(横浜環状北西線用地担当)

橋梁課
課長(技)菊地健次
(2752)

担当係長(技)樽川正弘
【主担任:計画調整、庶務・経理業務】
担当係長(技)沼田茂
担当係長(技)青木隆浩
【主担任:建設補修業務】

- 1 橋りょう(地下道等を含む。以下この部中同じ。)の調査、設計等(他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 2 橋りょうの維持及び修繕(他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 3 橋りょうの耐震対策
- 4 橋りょう台帳
- 5 橋りょうの荷重制限及び特殊車両の通行に係る審査
- 6 道路管理者以外の者が行う橋りょう工事の設計審査及び橋りょうの引継ぎ
- 7 道路管理者以外の者が行う橋りょう添架工事等の審査

- 1 道路整備事業(橋りょう等を含む。以下この部中同じ。)に係る関係諸機関との調整、協定等(他の課の主管に属するものを除く。)
- 2 道路整備事業に関する調査、設計等
- 3 道路整備事業予定地の管理及び代替地
- 4 道路予定区域の占用(道路部管理課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 5 道路整備事業に係る用地(以下この部中「事業用地」という。)の取得、借受け、地上権設定等並びにこれらに伴う補償、契約及び登記手続
- 6 事業用地、物件等の調査
- 7 事業用地の取得等に伴う租税特別措置法等に基づく手続
- 8 事業用地の取得等に係る諸証明
- 9 道路法第70条の規定による損失の補償及びこれらの契約等

事業調整課
課長(技)中村信治
(3985)

- 担当課長(技)水上典男(横浜環状道路担当、2758)
- 担当課長(技)田宮佳代子(横浜環状道路担当、3844)

担当係長(技)谷津毅
担当係長(技)栗本高史

【主担任:南線業務】

担当係長(技)菊地伸之
担当係長(技)佐藤公彦

【主担任:北線業務】

担当係長(技)勝俣英樹
担当係長(技)故島哲朗

【主担任:北西線業務】

- 1 横浜環状道路等高速道路の都市計画決定に係る原案の作成
- 2 横浜環状道路等高速道路の建設に関連する事業
- 3 横浜環状道路等高速道路の建設に伴う関係機関・団体との連絡調整
- 4 横浜環状道路等高速道路の建設に関連する事業予定地の管理
- 5 その他高速道路

- 10 課主管事務事業に係る事業用地の取用手続
- 11 局主管事務事業に係る事業用地の取用手続及び調整
- 12 局主管事務事業に係る事業用地取得の調整及び進行管理
- 13 新交通システム金沢シーサイドラインの建設に関する調査、設計等
- 14 道路整備事業に伴う普通財産の貸付け及び処分に係る方針決定(他の局、部の主管に属するものを除く。)
- 15 部内他の課の主管に属しないこと

区役所土木事務所職員は、
環境創造局・道路局を兼務

河川部
部長(技) 桐原 隆
(2817)

土木事務所

河川管理課
課長(事) 千葉 廣通
＜総務局危機管理室危機管理部
危機管理課担当課長兼務＞
(2819)

河川計画課
課長(技) 仲澤 克彦
(2818)

河川事業課
課長(技) 中田 秀昭
(3981)

副 所 長

担当係長(事) 岡本 栄里
【主担任:河川管理業務】
担当係長(事) 常盤木之和
【主担任:水路管財業務】
担当係長(技) 長内 紀子
【主担任:河川維持業務】

担当係長(技) 麻生 裕昌
【主担任:河川調整業務】
担当係長(技) 森田 真郷
【主担任:河川計画業務】
担当係長(技) 内田 昭博
【主担任:開発協議業務】

担当係長(技) 岩山 剛
【主担任:北部担当】
担当係長(技) 村澤 洋一
【主担任:南部担当】
担当係長(事) 篠田 行正
(用地担当)

管 理 係

道 路 係

下 水 道 ・ 公 園 係

- 1 市が管理する河川（以下この部中「管理河川」という。）一般下水道及び調整池の土地の占用及び占用料の徴収等（河川法（昭和39年法律第167号）第4条第1項に規定する一級河川（以下「一級河川」という。）の占用料の徴収を除く。）
- 2 管理河川及び一般下水道の管理者以外の施行する工事等の承認
- 3 開発行為等に伴う管理河川、一般下水道及び調整池の指導及び管理に係る協議
- 4 管理河川、一般下水道及び調整池の不法占用
- 5 管理河川、一般下水道及び調整池等の維持管理
- 6 都市基盤改修河川の維持
- 7 課所管工事の工事事務用資材及び器材の検査
- 8 一般下水道の工事等
- 9 管理河川、一般下水道及び調整池の新設及び用途廃止（一級河川の指定等を除く。）並びに寄附及び譲渡等
- 10 河川管理権限の移譲
- 11 水防
- 12 河川愛護思想の普及
- 13 水辺愛護会
- 14 河川管理台帳
- 15 一般下水道及び調整池の財産管理及び土地に係る権利の得喪変更
- 16 都市計画法等に基づく開発行為等により設置される一般下水道及び調整池の帰属

- 1 河川事業の基本方針及び実施の計画
- 2 河川事業の執行調整及び国庫補助申請等
- 3 河川の都市計画決定
- 4 河川事業に係る統計、調査及び研究
- 5 河川の流域対策の計画
- 6 総合治水対策の推進
- 7 開発事業調整条例第18条第2項第5号に基づく雨水流出抑制施設に係る開発事業計画の同意に係る審査、指導等
- 8 特定都市河川浸水被害対策法（平成15年法律第77号）第9条から第31条までの規定に基づく雨水浸透阻害行為に係る許可、保全調整池の指定等
- 17 事務処理の特例に関する条例（平成11年神奈川県条例第41号）別表第125項の2及び第126項の規定による国有財産法（昭和23年法律第73号）に基づく事務並びに同表第156項及び第156項の3の規定による不動産登記法（平成16年法律第123号）に基づく事務（管理河川の用に供されている国土交通省所管不動産に係るものに限る。）
- 18 管理河川、一般下水道及び調整池に係る土木事務所との連絡調整
- 19 部内他の課の主管に属しないこと

- 1 河川工事及び流域対策工事の設計及び施工
- 2 河川工事等に係る用地の測量その他の技術的調査
- 3 河川の災害復旧
- 4 課所管工事の工事事務用資材及び器材の検査
- 5 課所管工事に伴い生ずる被害の補償等
- 6 河川整備事業に係る用地（以下この部中「事業用地」という。）の取得、借受け、地上権設定等並びにこれらに伴う補償、契約及び登記手続
- 7 事業用地、物件等の調査
- 8 事業用地の取得等に伴う租税特別措置法等に基づく手続
- 9 事業用地の取得等に係る諸証明
- 10 事業用地の取得、借受け及び地上権等の設定並びにこれらに係る補償に伴う経理事務
- 11 河川整備事業予定地の管理及び代替地
- 12 課主管事務事業に係る事業用地の収入手続



平成26年度 道路局事業概要

道 路 局

目 次

	ページ
予算編成の基本的な考え方と施策の体系	1
道路局予算総括表	2
新規事業	3
主な事業	
I 道路整備	4
1 高速道路の整備	
2 幹線道路の整備	
3 地域道路の整備	
II 道路等の維持・管理	10
1 道路の維持・管理	
2 橋梁・トンネル等の維持・管理	
III 地域交通対策	14
1 バス交通対策	
2 自転車交通対策	
3 交通安全啓発	
4 交通結節点の整備	
5 市営自動車駐車場の管理運営	
6 都心部における新たな交通システム導入の検討	
7 その他	
IV 河川整備	16
1 河川改修	
2 流域貯留施設の整備	
3 河川環境の整備	
4 河川施設の地震対策等	
V 河川等の維持・管理	18
1 河川・水路等の維持・管理	
2 水政事業	
3 水防事業	
市民の安全・安心、防災対策に関する事業【再掲】	20
平成26年度道路局当初予算	22

平成26年度道路局予算の編成

26年度道路局予算の編成では、国の経済対策補正予算を踏まえ、街路整備費など一部の事業を25年度2月補正予算(※)と一体となった、いわゆる“15か月予算”として編成しています。年度の切れ目なく、予算を執行することで、市内経済や市民生活に必要な事業を着実に実施していきます。

本文中の表記について

◆ 26年度当初予算と25年度2月補正予算を一体的に編成した事業

XX億X, XXX万円	(XX億X, XXX万円)	(XX億XX, XXX万円)
26年度当初予算	2月補正を含めた予算	25年度当初予算

◆ 26年度当初予算のみの事業

XX億XX, XXX万円 (XX億XX, XXX万円)

※人件費改定や入札残による減額など、通常の補正分は含みません。
※1万円未満は四捨五入しています。

◆ 20、21頁に再掲の各事業については本文中に次の印をしています。

- ・道路・河川施設等の保全・・・◎
- ・通学路の交通安全の確保・・・◇
- ・地震防災対策・・・☆

予算編成の基本的な考え方と施策の体系

【基本的な考え方】

道路分野では道路整備、道路等の維持管理、地域交通対策の3つの柱を軸として、河川分野では河川整備、河川等の維持管理の2つの柱を軸として、限られた財源の中でより効果が発現されるよう選択と集中を図りました。

【施策の体系】

I 道路整備

災害対応力の強化や市民生活の利便性の向上、経済活動の活性化を図るとともに、環境負荷の低減にも寄与する、効率的で効果的な道路ネットワーク等を実現するため、高速道路、幹線道路、地域道路整備をバランスよく進めます。

1 高速道路の整備

2 幹線道路の整備

3 地域道路の整備

II 道路等の維持・管理

市民の安全で快適な道路交通を支え、後世に良質な社会資本を継承するため、道路施設の適切な維持管理及び保全を推進します。

1 道路の維持・管理

2 橋梁・トンネル等の維持・管理

III 地域交通対策

◆誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、地域交通サポート事業等のバス交通施策を推進します。

◆歩行者の安全な通行を確保するため、放置自転車対策など、自転車交通対策を進めるとともに、交通安全に関するマナーの向上等を図るため、交通安全啓発を推進します。

◆地域の交通の拠点となる鉄道駅の改良を進めるとともに、都心部の交通対策として、市営自動車駐車場の管理運営を行います。

1 バス交通対策

2 自転車交通対策

3 交通安全啓発

4 交通結節点の整備

5 市営自動車駐車場の管理運営

6 新たな交通システム導入の検討

7 その他(特別会計操出金など)

IV 河川整備

◆台風や集中豪雨から市民の生命・財産や都市機能を守るため、河川の改修等を推進します。

◆流域貯留施設の整備等、総合的な治水対策を進めます。

◆快適な水環境を目指し、河川環境の整備等を推進します。

◆河川施設の地震対策等を進めることで、被災時の機能維持に努めます。

1 河川改修

2 流域貯留施設の整備

3 河川環境の整備

4 河川施設の地震対策等

V 河川等の維持・管理

◆河川及び水路の維持管理を行うほか、水辺愛護会活動を積極的に支援し、地域の水辺環境を良好に保つとともに河川愛護意識の醸成を図ります。

◆水防災情報システムによる水位情報の提供を行い、浸水被害を軽減するための取組を進めます。

1 河川・水路等の維持・管理

2 水政事業

3 水防事業

道路局予算総括表

<一般会計>

(単位：千円)

科 目	26年度 当初予算	2月補正を 含めた予算 (A)	25年度 当初予算 (B)	差引増▲減 (A)-(B)	増▲減 率
歳 出	66,885,626	75,574,346	64,634,959	10,939,387	16.9%
12款	65,251,254	73,939,974	62,854,397	11,085,577	17.6%
1項 道路維持管理費	21,829,049	23,329,049	22,410,252	918,797	4.1%
2項 道路整備費	39,501,133	46,233,853	36,105,828	10,128,025	28.1%
3項 河川費	3,921,072	4,377,072	4,338,317	38,755	0.9%
17款 諸支出金	1,634,372	1,634,372	1,780,562	▲ 146,190	▲ 8.2%

財源内訳

26年度当初予算

2月補正を含めた予算

1 国庫支出金	12,553,298 千円	16,291,294 千円
2 県支出金	958,249 千円	1,082,249 千円
3 使用料及び手数料	8,219,523 千円	8,219,523 千円
4 諸収入等	978,399 千円	978,399 千円
5 市債	19,704,000 千円	22,861,000 千円
6 一般財源	24,472,157 千円	26,141,881 千円

合計

66,885,626 千円

75,574,346 千円

<自動車駐車場事業費会計>

(単位：千円)

科 目	26年度 当初予算	25年度 当初予算	差引増▲減	増▲減率
歳 出	1,246,148	1,278,412	▲ 32,264	▲ 2.5%
1款 自動車駐車場事業費	1,246,148	1,278,412	▲ 32,264	▲ 2.5%
1項 運営費	462,822	433,742	29,080	6.7%
2項 公債費	782,326	843,670	▲ 61,344	▲ 7.3%
3項 予備費	1,000	1,000	0	0.0%

財源内訳

1 国庫支出金	38,500 千円
2 使用料及び手数料	414,402 千円
3 諸収入等	110,920 千円
4 一般会計繰入金	682,326 千円

合計

1,246,148 千円

新規事業

～未来の横浜まちづくりに向けた先駆的事業への投資～

1 骨太なまちづくりへのとりくみ

- (1) 高速道路 I C 周辺土地利用計画の検討 500万円
整備が進められている横浜環状道路等について、インターチェンジ周辺にふさわしい土地利用などについて検討を進めます。
- (2) 高速道路・鉄道等官民交通連携調査 2,000万円
高速道路と鉄道駅が近接する東急田園都市線江田駅周辺をモデルに、新しい交通施策として官民連携により高速バスと鉄道との交通結節点に、道の駅など複合的な機能を持たせて整備する方策について検討します。
- (3) 都心部における新たな交通システム導入の検討 375万円
(都市整備局と合計で750万円)
都心部の回遊性向上を図るための新たな交通システムの導入について検討します。

2 安全・安心へのとりくみ

- (1) 通学路交通安全対策プロジェクトによる検討 900万円
通学路安全対策については、これまで地域のスクールゾーン協議会から強い要望があるものの、歩道設置など対応が難しい課題がありました。そこで、早期に整備を進めるため、南区、金沢区、泉区をモデル区として、関係局による「区局連携プロジェクト」を設置し、歩道設置などの事業化に向け積極的に取組を進めます。
- (2) 踏切安全対策の推進 1億3,400万円
生見尾踏切（鶴見区）の安全対策として、立体横断施設の早期完成を目指し、設計を進めます。また、これまで対策を実施していない踏切に、緊急対策として歩道設置を進めるとともに、踏切の総合的な安全対策として、交通量、遮断時間、市民要望等を勘案した整備計画を策定します。
- (3) 道路インフラの新たな維持管理方策に関する検討 500万円
民間活力の導入など、維持管理の新たな方策の検討を行います。
- (4) 「エマージェンシーエネルギーで安心な街、ヨコハマ」検討・調査 2,500万円
緊急時においても、安定した水防活動等を行うため、環境にやさしく再生可能な自然エネルギー（太陽光、風力等）の活用により、警報装置等のバックアップ電源の確保に向けた実証実験（経済局と連携）を行います。

3 次世代の環境対策へのとりくみ

- (1) 「アユが遡上する街、ヨコハマ」検討・調査 500万円
生物多様性に配慮した河川環境の再生・保全を図るため、アユを指標種として、遡上及び生育環境の整備手法等を検討し、全市展開を目指します。このため、これまで魚道整備等の取組を進めてきた帷子川で、モデルとなるアクションプランを策定します。

I 道路整備

1 高速道路の整備

横浜環状道路は、本市の骨格となる高速道路です。

保土ヶ谷バイパスに集中する交通の分散や混雑緩和など市民生活の利便性向上をはじめ、本市の経済活動や国際コンテナ戦略港湾である横浜港を支えるとともに、災害対応力の強化を図るため、横浜環状道路等高速道路ネットワークの整備を進めます。

(1) 横浜環状南線等☆ 25億1,063万円 (20億11万円)

■平成26年度事業内容

- ・本線の用地取得及び工事の推進等に伴う国直轄事業に対する負担金
- ・地域住民への説明会の開催、パンフレットの作成等の広報活動の実施 など

■横浜環状南線の概要

- ・区 間：釜利谷JCT (横浜横須賀道路) ～戸塚IC (国道1号)
- ・延 長：約8.9km、車線数：6車線
- ・事業主体：国土交通省、東日本高速道路(株)

■横浜湘南道路の概要

- ・区 間：栄IC・JCT (横浜環状南線) ～藤沢IC (新湘南バイパス)
 - ・延 長：約7.5km (うち横浜市域約1.9km)、車線数：4車線
 - ・事業主体：国土交通省、東日本高速道路(株)
- (関連街路整備費 13億3,910万円 上郷公田線等)

(2) 横浜環状北線☆ 38億750万円 (36億700万円)

■平成26年度事業内容

- ・本線工事の推進に伴う首都高速道路の整備に対する出資金
- ・地域住民への説明会の開催、広報活動の実施 など
- ・なお、馬場出入口については本市街路事業として整備を進めます。

■概要

- ・区 間：港北IC (第三京浜道路) ～生麦JCT (首都高速道路横羽線)
 - ・延 長：約8.2km、車線数：4車線
 - ・事業主体：首都高速道路(株)
- (関連街路整備費 61億9,900万円 (91億9,900万円) 岸谷生麦線等)

(3) 横浜環状北西線☆36億2,700万円 (48億2,700万円) (31億2,470万円)

■平成26年度事業内容

- ・調査、設計、測量、用地取得及び工事 など
- ・本線事業の推進に伴う首都高速道路の整備に対する出資金

■概要

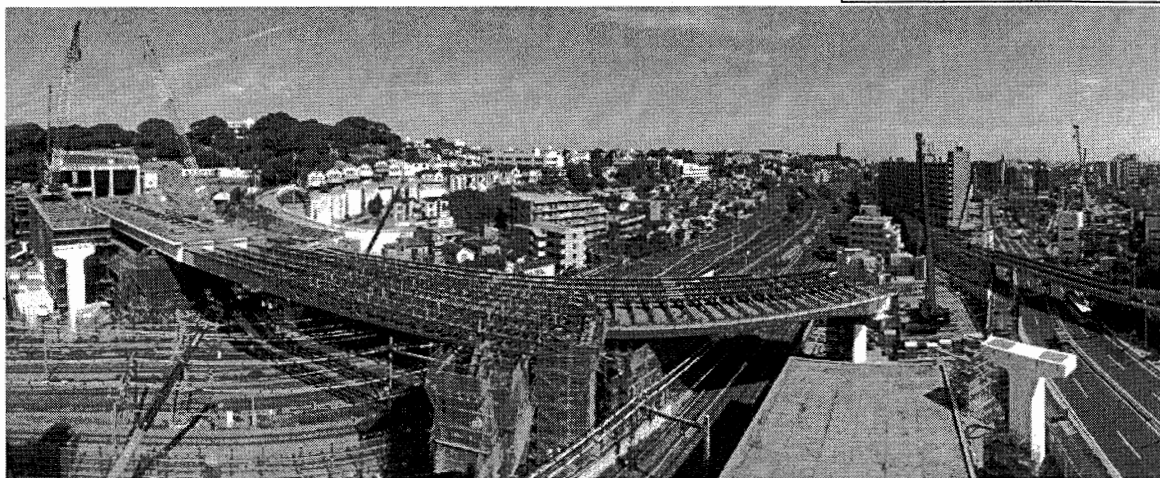
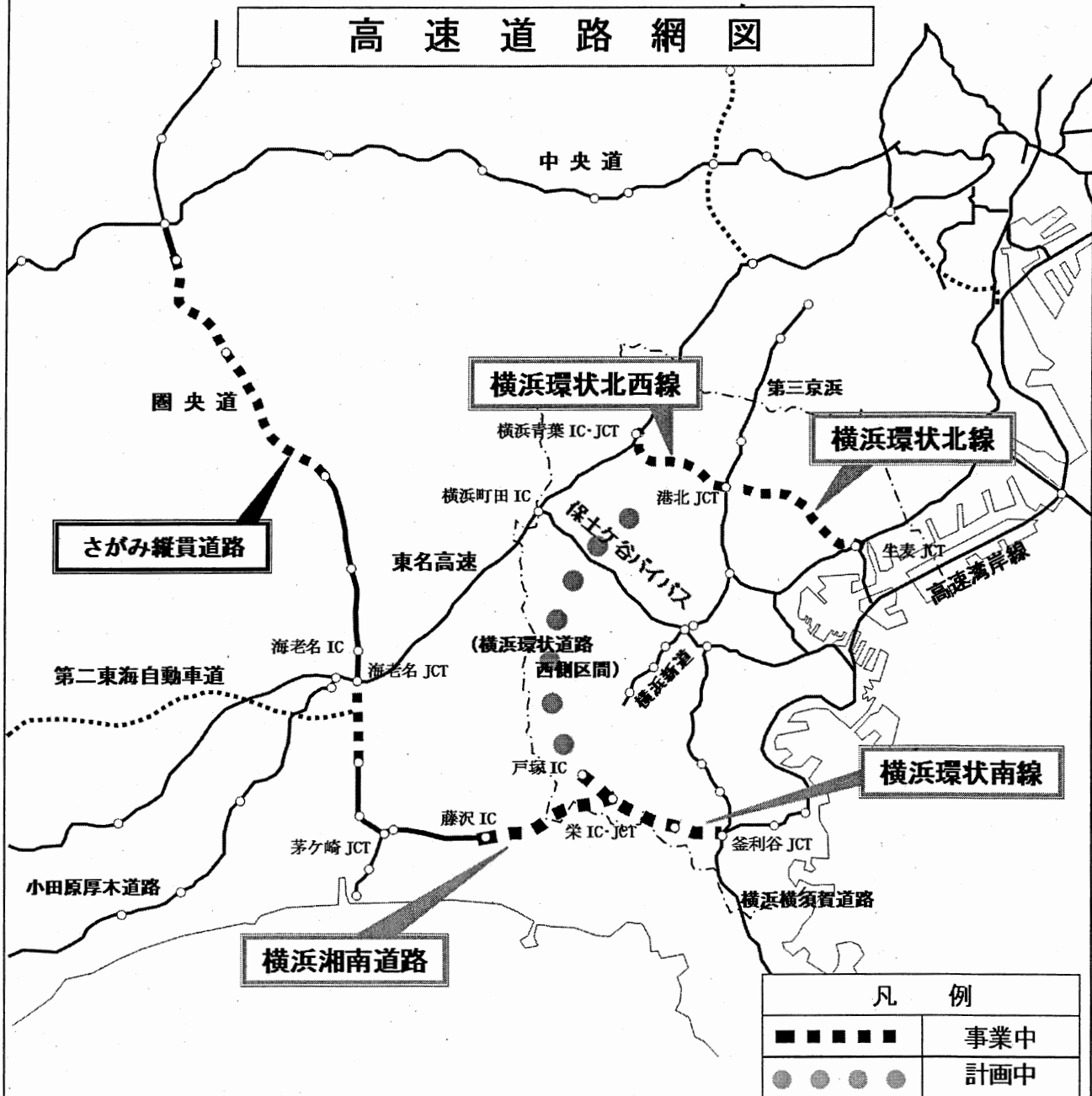
- ・区 間：横浜青葉IC (東名高速道路) ～港北IC (第三京浜道路)
 - ・延 長：約7.1km、車線数：4車線
 - ・事業主体：横浜市、首都高速道路(株)
- (関連街路整備費 16億2,800万円 川向線(川向地区) 外1)

(4) その他 4,484万円 (2,691万円)

- ・高速道路・鉄道等官民交通連携調査費【新規・再掲】
- ・高速道路IC周辺土地利用計画検討費【新規・再掲】
- ・道路予定地管理費◎ など

I 道路整備

高速道路網図



横浜環状北線：生麦鉄道交差部

I 道路整備

2 幹線道路の整備

活力ある横浜経済の実現とともに、環境負荷の軽減、災害対応力の向上など、市民生活の安全・安心の確保に向け、地域的なバランスに配慮しつつ、整備効果が早期に現れる路線や緊急輸送路などを中心に、幹線道路の整備を進めます。

(1) 都市計画道路の整備138億3,075万円〈168億7,075万円〉

(113億8,148万円)

市域の一体性を高めながら都市機能の強化を図るため、都市計画道路等の整備を進めます。また、社会状況の変化等に対応するため、引き続き都市計画道路網の見直しを進めます。

ア 横浜環状道路関連街路 91億6,610万円〈121億6,610万円〉 (55億3,024万円)

- ・横浜環状北線関連街路 (岸谷生麦線 (鶴見区) 等) ☆
- ・横浜環状北西線関連街路 (川向線【川向地区】 (都筑区) 外1) ☆
- ・横浜環状南線関連街路 (上郷公田線【公田地区】 (栄区) 等) ☆

イ 都市計画道路等 (横浜環状道路関連街路以外) 46億6,465万円〈47億465万円〉

- ・六角橋線【神大寺地区】 (神奈川区) ◇☆ (58億5,124万円)
- ・汐見台平戸線【別所地区など4地区】 (南区・港南区・磯子区) ◇☆
- ・横浜藤沢線【上永谷舞岡地区】 (港南区・戸塚区) ☆
- ・鴨居上飯田線【本宿二俣川地区】 (旭区) ☆
- ・上白根第99号線【上白根地区など5地区】 (旭区) ◇☆ (白根四丁目地区 26年度完成予定)
- ・金沢シーサイドライン (金沢区)
- ・宮内新横浜線【新吉田高田地区】 (港北区) ☆
- ・山下長津田線【鴨居地区】 (緑区) ☆
- ・環状3号線【戸塚地区】 (戸塚区) ☆
- ・桂町戸塚遠藤線【上倉田戸塚地区】 (戸塚区) ☆
- ・環状4号線【公田桂町地区】 (栄区) ☆
- ・権太坂和泉線【名瀬岡津地区・和泉地区】 (戸塚区・泉区) ☆
- ・中田さちが丘線【岡津地区】 (泉区) ☆
- ・県道瀬谷柏尾【新橋その2地区など3地区】 (泉区) ◇☆ (新橋その2地区 26年度完成予定)
- ・環状4号線等【上瀬谷地区】 (瀬谷区) ☆ など 52箇所

(2) 国道の整備 21億4,610万円〈23億6,610万円〉 (30億989万円)

本市の道路ネットワークの骨格を担う国道の整備を進めます。

- ・国直轄事業：国道357号【本牧地区】 (中区) ☆ など
- ・補助事業：国道1号【不動坂交差点】 (戸塚区) ☆
国道1号【保土ヶ谷橋交差点】 (保土ヶ谷区) ☆

(3) 相模鉄道 (星川～天王町駅) 連続立体交差事業 (保土ヶ谷区) ☆

10億2200万円〈20億2,200万円〉 (1億9,800万円)

28年度の下り線高架化、30年度の全線高架化に向け整備を進めます。

(4) 一般財団法人横浜市道路建設事業団への補助 40億円 (40億円)

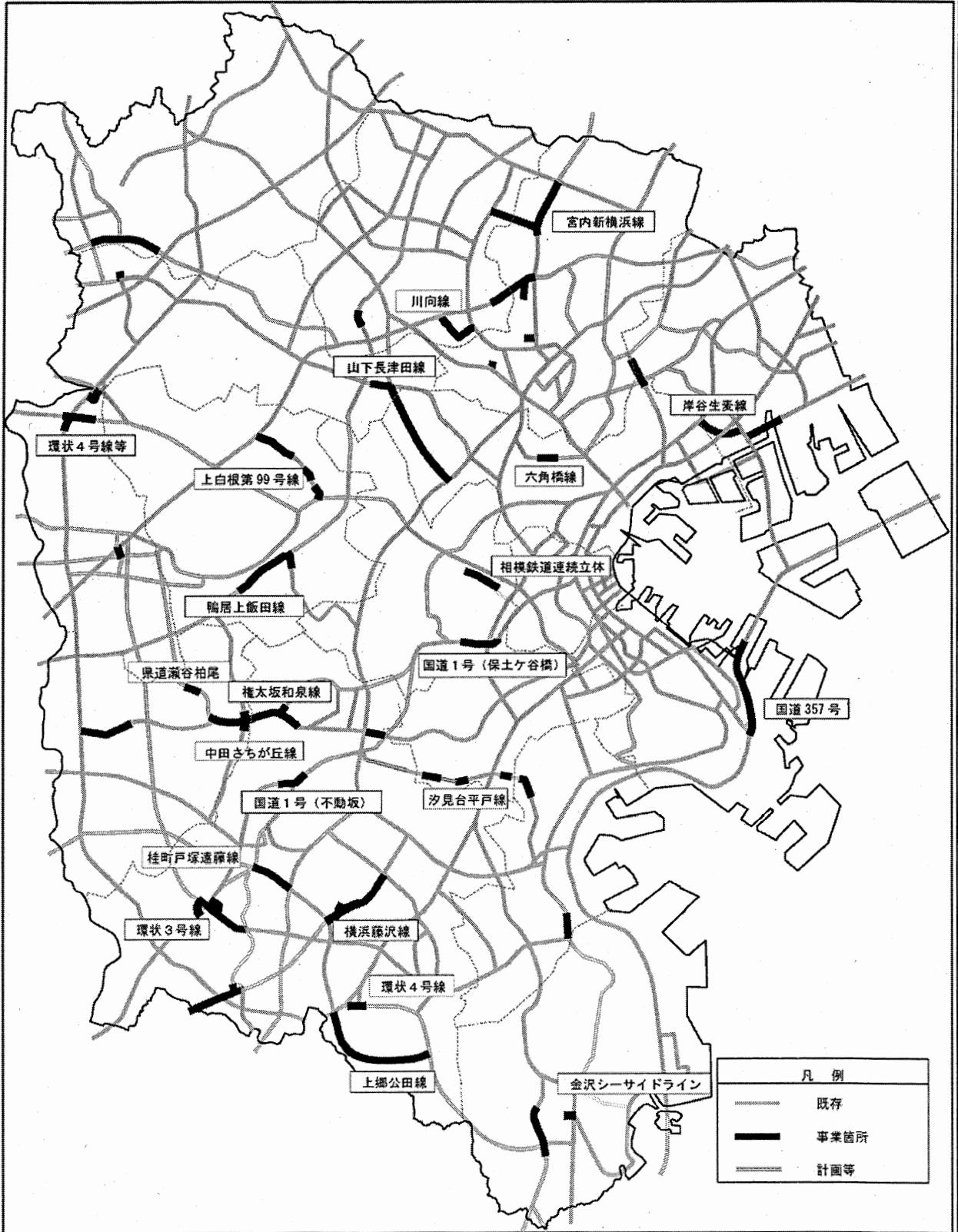
引き続き計画的な事業団の債務返済と道路資産の移管を進めます。

(5) その他 6億5,320万円 (7億6,001万円)

- ・公共事業用地費会計繰出金 など

I 道路整備

主な事業箇所（幹線道路）



I 道路整備

3 地域道路の整備

地域の利便性の向上に資する道路改良をはじめ、通学路等におけるあんしんカラーベルト、駅周辺のバリアフリー化など、地域のニーズを踏まえた道路整備を進めます。

(1) 道路改良の推進 17億318万円〈19億8,738万円〉 (21億7,794万円)

市民生活やバス交通の利便性の向上を図るため、歩道設置や交差点改良によるボトルネックの解消等、市民生活に密着した道路改良事業を進めます。

- ・市道末吉橋第1号線 (鶴見区)
- ・市道柏尾第358号線 (港南区)
- ・県道青砥上星川【上菅田地区】 (保土ヶ谷区) (26年度完成予定) ☆
- ・市道釜利谷第120号線【宮ヶ谷交差点】 (金沢区)
- ・県道横浜生田【新羽町地内】 (港北区) ☆
- ・市道長津田第296号線 (緑区) ◇
- ・市道北八朔北部第379号線 (都筑区)
- ・県道横浜生田【新橋交差点】 (青葉区)
- ・県道阿久和鎌倉【深谷町地区】 (戸塚区) ☆
- ・市道和泉町第449号線【赤坂橋】 (泉区) ☆
- ・県道瀬谷柏尾【本郷その2地区】 (瀬谷区) ◇ など 52箇所

(2) 踏切安全対策の推進【一部新規・再掲】 1億3,400万円 (4,770万円)

生見尾踏切 (鶴見区) 等の安全対策を進めます。

(3) 交通安全施設の整備 3億6,243万円 (3億7,420万円)

防護柵、案内標識、道路照明灯、視覚障害者誘導用ブロック等の交通安全施設を整備します。

また、通学路交通安全対策プロジェクトによる検討を進めます。◇

【新規・再掲】

(4) あんしんカラーベルトの整備 1億225万円 (9,200万円)

小学校の通学路や駅周辺等において、児童や歩行者の安全を確保するため、路側帯をカラー化するあんしんカラーベルト事業を進めます。◇ ・約32km (18区)

(5) バリアフリーの推進 9,916万円 (1億1,811万円)

ア 駅周辺のバリアフリー化を推進するため、バリアフリー法に基づく基本構想の検討・策定を行います。

- ・阪東橋駅・黄金町駅周辺地区 (南区) など 2地区

イ 歩道の段差解消等、バリアフリー歩行空間を整備します。

- ・いずみ中央駅・立場駅周辺地区 (泉区)
- ・杉田駅・新杉田駅周辺地区 (磯子区) など 9地区

(6) 電線共同溝の整備☆ 4億1,300万円〈5億9,120万円〉 (4億700万円)

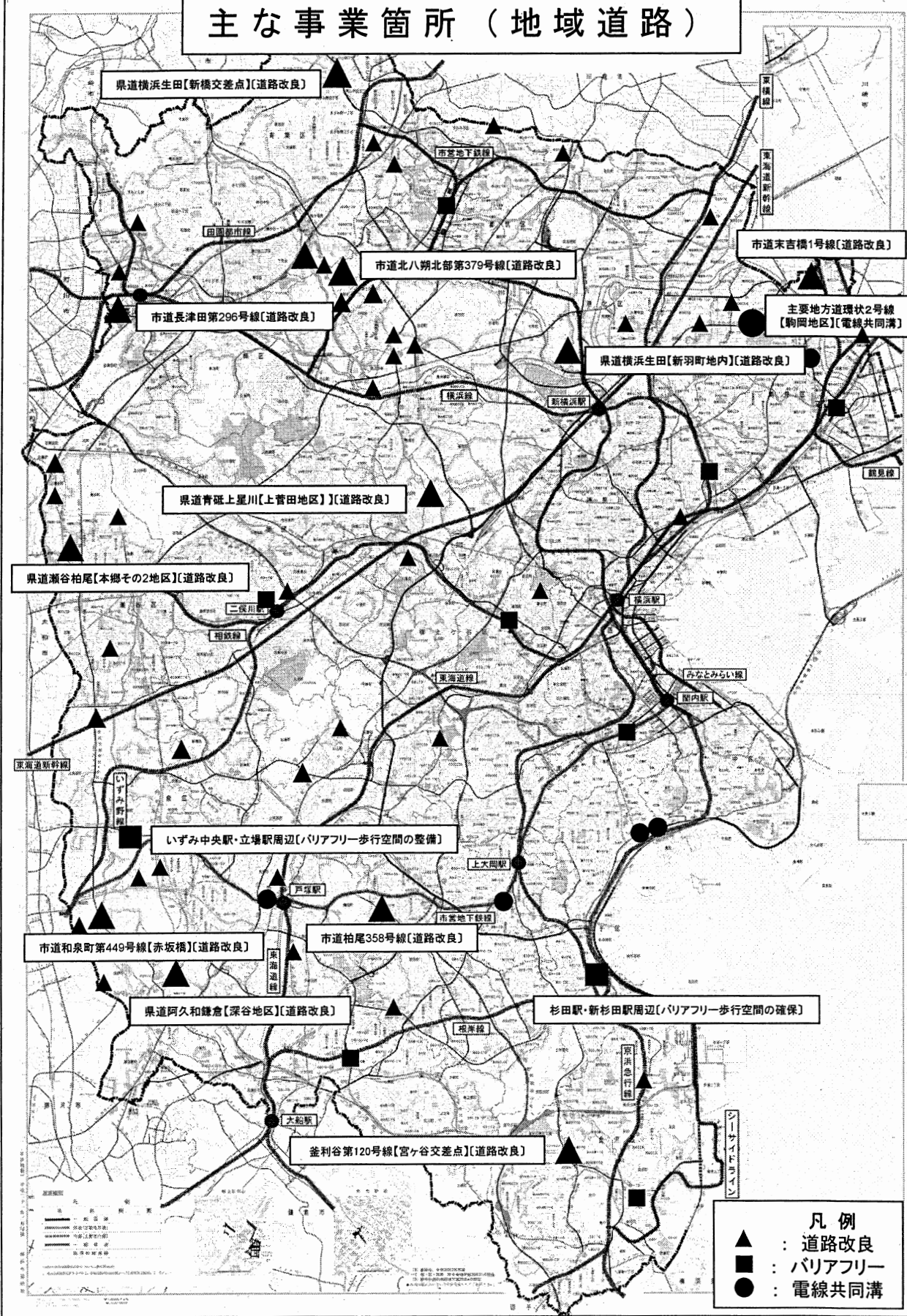
緊急輸送路や区役所へのアクセス道路などを優先し、電線類の地中化を図るため、電線共同溝の整備を進めます。

- ・主要地方道環状2号線【駒岡地区】 (鶴見区) など 5路線6地区

(7) 私道対策の推進 1億6,014万円 (1億5,379万円)

市民が行う私道の舗装工事等への助成や、市民要望による私道整備を推進します。また、私道を公道に移管するための測量費等の助成を行います。

主な事業箇所（地域道路）



- 凡例
- ▲ : 道路改良
 - : バリアフリー
 - : 電線共同溝

Ⅱ 道路等の維持・管理

1 道路の維持・管理

道路舗装の補修や歩道橋の長寿命化及び地震対策を計画的に進めます。あわせて、市民要望に適切に対応するために、防護柵等、交通安全施設の補修等を行うとともに、エレベーターの管理等、道路の維持管理を行います。

また、市民協働によるハマロード・サポーター事業を推進するほか、既存施設の有効活用を図る等、財源の確保に努めます。

(1) 道路修繕◎ 84億6,000万円〈99億6,000万円〉 (95億3,072万円)

舗装のわだち掘れ等、損傷が著しくなってきた道路の計画的な修繕や緊急を要する舗装補修を実施します。

なお昨年度に引き続き、年度末の災害等に対応するため、事業費の一部について債務負担行為を設定し、すみやかな着手を可能にしています。



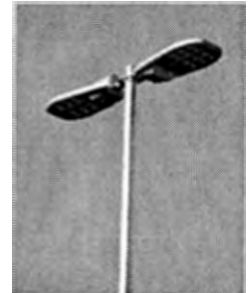
道路の維持・管理（舗装補修）

(2) 道路インフラの新たな維持管理方策に関する検討【新規・再掲】 500万円

民間活力の導入など、維持管理の新たな方策の検討を行います。

(3) 交通安全施設の補修◎ 3億8,337万円〈4億3,089万円〉 (3億9,421万円)

防護柵、案内標識等の交通安全施設の補修を行うとともに、道路照明灯の建替えに併せLED化を進めます。



(4) 歩道橋の維持・管理 6億875万円〈6億7,475万円〉

(7億1,880万円) LED道路照明灯

歩道橋の長寿命化を図るため、計画的な維持補修を進めるとともに、東日本大震災等を踏まえ、歩道橋の耐震補強を進めます。

ア 歩道橋の耐震補強◎☆ 3億3,500万円 (5億600万円)

大規模地震時における緊急輸送路等の通行機能を確保し、救助・支援・復旧活動を円滑に行うため、緊急輸送路上の歩道橋から優先し、橋脚補強や落橋防止などの耐震補強を進めます。

- ・ポートサイド歩道橋（神奈川区）
など 24橋

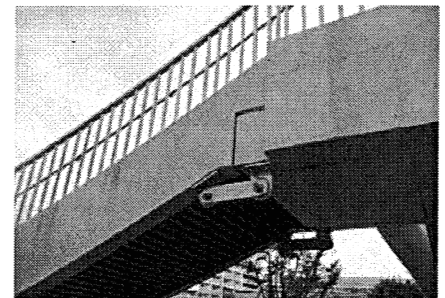
イ 歩道橋の長寿命化◎

2億7,375万円〈3億3,975万円〉

(2億1,280万円)

歩道橋長期保全計画に基づき、桁の塗装や橋面舗装などの補修事業を進めます。

- ・港南台第一歩道橋（港南区）など 18橋



歩道橋の耐震補強（落橋防止装置）
（馬洗歩道橋：港南区）

Ⅱ 道路等の維持・管理

(5) 道路清掃や施設管理 30億9,295万円〈32億3,155万円〉

(29億7,451万円)

車道等の清掃及び道路照明灯やエレベーター等の保守・管理を行うとともに、道路の適切な管理に必要な道路台帳の更新等を行います。

また、市民との協働で道路清掃や美化活動を行うハマロード・サポーター事業を推進します。

【主な内容】

- ・道路等の清掃：道路延長(約600km)、駅前広場(28駅：約45,000㎡)
- ・道路照明灯の管理◎：62,900灯
- ・エレベーターの管理◎：95基
エスカレーターの管理◎：60基(動く歩道含む)
- ・共同溝の維持・管理◎
- ・道路がけの点検☆
- ・道路台帳の管理：道路台帳の更新
- ・道路台帳のデジタル化☆
- ・認定路線の管理
- ・ハマロード・サポーター：375団体
- ・路面下空洞調査☆
- ・工事や維持管理に必要な、コスト管理や品質確保のための技術基準の作成 など



ハマロード・サポーターの活動

(6) 街路樹・植樹帯の管理◎ 11億3,879万円(9億3,083万円)

ア 都市に潤いと憩いを与える街路樹及び植樹帯の植栽を良好に生育させるため、剪定等の維持管理を行います。

- ・街路樹：133,100本
- ・植樹帯：125.4ha

※これ以外に、みどり保全創造事業費会計の歳出予算を活用し、街路樹剪定の充実を図ります。

イ 歩道の根上がりや樹木の老朽化により、歩行者の安全な交通に支障がある街路樹について、改良工事を実施します。

- ・美しが丘西第120号線(青葉区) など3箇所



街路樹の剪定状況

(7) すず風舗装の整備 1,260万円(1,400万円)

ヒートアイランド対策の一つとして、舗装表面の温度上昇を抑制するすず風舗装を実施します。

- ・市道磯子第245号線【磯子アベニュー】(磯子区)
- ・市道根岸第12号線【磯子地区】(磯子区)
- ・市道笠間第139号線【桂町地区】(栄区)

(8) その他 67億6,272万円(67億4,474万円)

職員人件費 など

Ⅱ 道路等の維持・管理

2 橋梁・トンネル等の維持・管理

市民の安全・安心を確保するため、橋梁の地震対策、橋梁の老朽化対策及びトンネル・地下道の補修を積極的に推進します。

- (1) 橋梁の地震対策 11億8,010万円<13億1,870万円> (6億4,100万円)
緊急輸送路にある橋や、跨線橋・跨道橋など重要橋梁の耐震補強が概ね完了したため、一般橋梁について推進します。

ア 一般橋梁の地震対策◎☆

耐震補強

- ・安善橋 (鶴見区)
- ・夕照橋 (金沢区) など30橋

架替え

- ・富士見橋 (神奈川区) など2橋



一般橋梁
(夕照橋：金沢区)

イ 重要橋梁の地震対策◎☆

耐震補強

- ・万里橋 (西区) など2橋

架替え

- ・新浦島橋 (神奈川区) など2橋

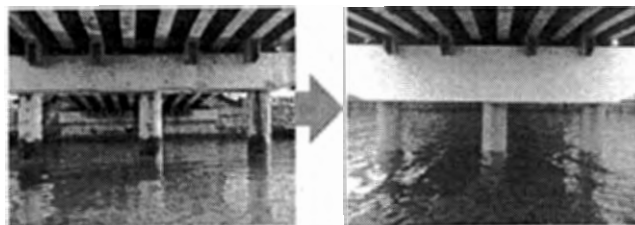
- (2) 橋梁の老朽化対策 25億6,506万円<28億8,846万円> (26億4,508万円)
橋梁の点検や、利用者・第三者被害のおそれがあるなど優先度の高いものから計画的に補修を行い、長寿命化を推進するとともに、老朽橋の架替えを行います。

ア 定期点検◎

- ・約350橋

イ 計画的な補修◎☆

- ・大黒高架橋 (鶴見区)
- ・南本宿橋 (旭区) など123橋



橋脚を補修した事例
(磯子橋：磯子区)

ウ 老朽橋の架替え◎☆

- ・天神橋 (磯子区) など2橋

- (3) トンネル・地下道の補修 9,010万円<1億8,630万円> (5,036万円)
トンネル・地下道の点検や、点検結果に基づく補修を行います。

ア 定期点検◎

- ・約20箇所

イ 計画的な補修◎

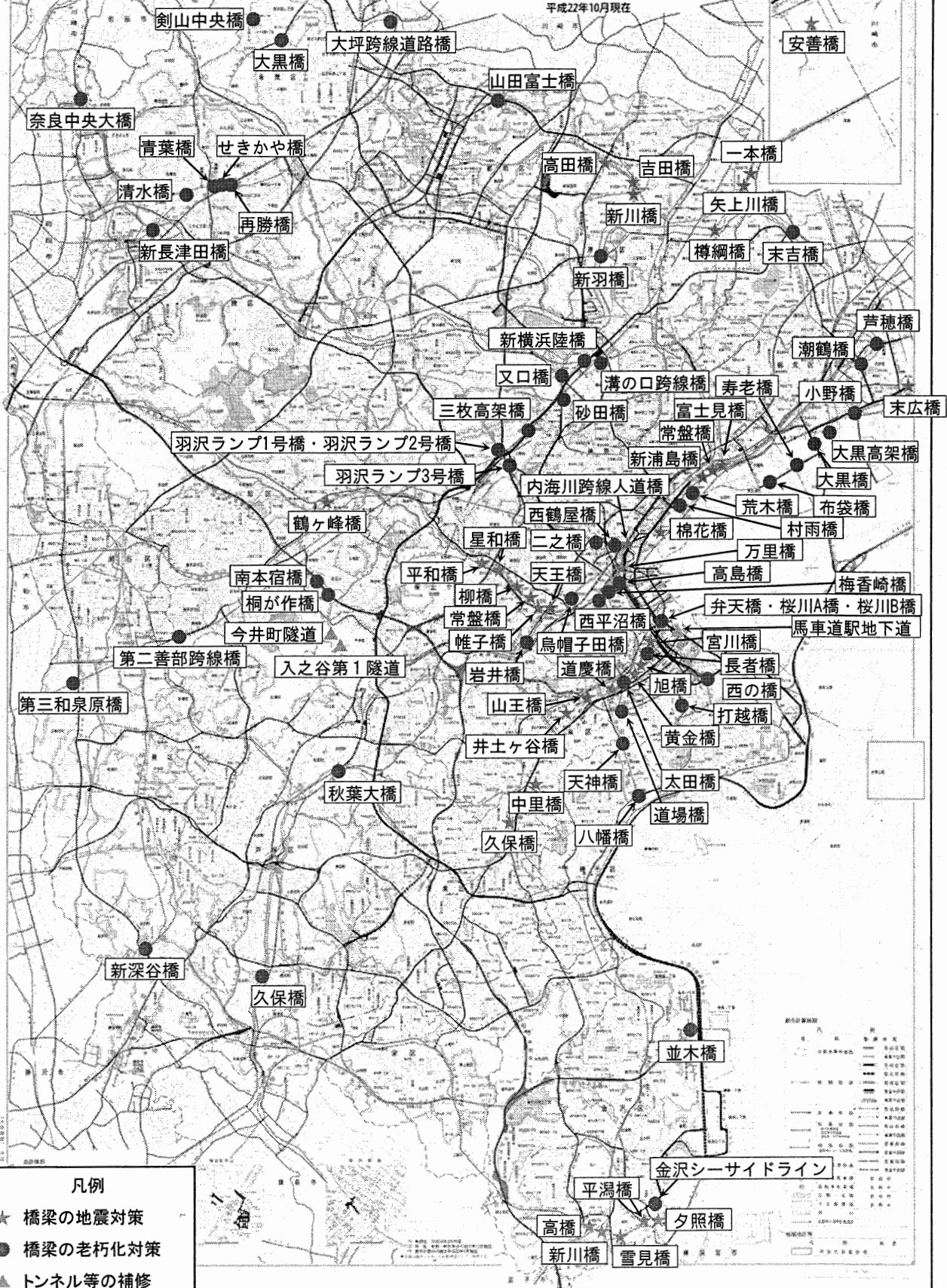
- ・今井町隧道 (保土ヶ谷区) など3箇所



コンクリートのひび割れ、はく落
(今井町隧道：保土ヶ谷区)

Ⅱ 道路等の維持・管理

主な事業箇所（橋梁・トンネル等の保全）



Ⅲ 地域交通対策

地域交通対策

誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、地域交通サポート事業等のバス交通施策を推進します。また、歩行者の安全な通行を確保するため、放置自転車対策など、自転車交通対策を進めるとともに、交通安全に関するマナーの向上等を図るため、交通安全啓発を推進します。さらに、地域の交通の拠点となる鉄道駅の改良を進めるとともに、都心部の交通対策として、市営自動車駐車場の管理運営を行います。

1 バス交通対策

(1) 地域交通サポート事業の推進 2,415万円 (1,500万円)

地域にふさわしい交通サービスの実現に向けた地域主体の取組に対して、活動経費助成や調査の実施支援、実証運行の支援等を行います。

緑園地区(泉区) など 7地区

(2) 横浜市生活交通バス路線の維持支援 4億8,013万円 (4億6,885万円)

バス路線の廃止による交通不便地域の発生等を回避し、市民の日常生活の利便性を確保するため、必要と認められるバス路線に対し補助金を交付し、17路線を維持します。

2 自転車交通対策

(1) 自転車等放置防止対策の推進 6億2,549万円 (5億9,098万円)

駅周辺の歩行者の安全な通行を確保するため、放置自転車の撤去に加え、マナーアップの声かけ等も強化し、自転車等放置防止対策を進めます。

・放置自転車の撤去：市内全区114駅

(2) 有料自転車駐車場の管理運営 16億5,943万円 (16億1,471万円)

自転車等放置防止対策の一環として、有料自転車駐車場の管理運営を行います。

・有料自転車駐車場の運営：238箇所(平成26年4月1日時点)

(3) 自転車駐車場の整備等 3億4,738万円 (3億2,543万円)

駅周辺の放置自転車対策として自転車駐車場等の整備や既設の自転車駐車場等の補修を行います。

また、整備を促進するため、民営自転車駐車場の建設費の補助を行います。

・自転車駐車場の整備：新横浜駅第六(港北区)

など 6箇所(707台)

・民営自転車駐車場の建設費補助：500台

(4) 自転車通行空間の整備◇ 3,860万円 (3,600万円)

安全で快適な自転車利用を図るため、自転車レーン等の整備を進めます。

・すずかけ通り(西区)など 4箇所

(道路延長:約2.1km)



自転車通行空間の整備(旭区善部町)

Ⅲ 地域交通対策

3 交通安全啓発

2,982万円 (3,248万円)

年間を通じた交通安全運動を実施し、交通安全に関する広報・啓発活動を推進します。

また、子供の交通安全対策や、幼児・児童や高齢者など、年齢や世代に応じた交通安全教育を行います。

- 交通安全教育の実施：幼稚園・保育園(175園)
小学校(210校)◇ など

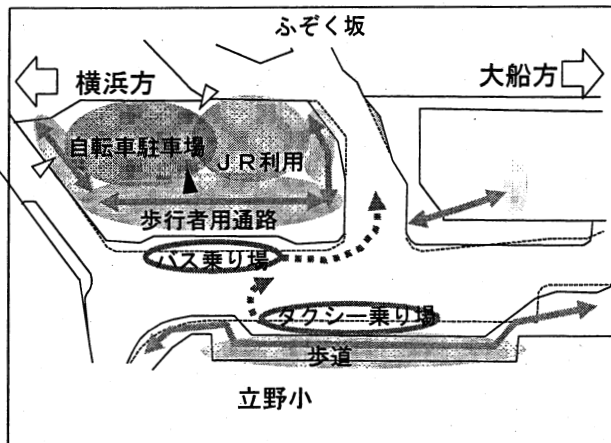


幼児交通安全教育の様子

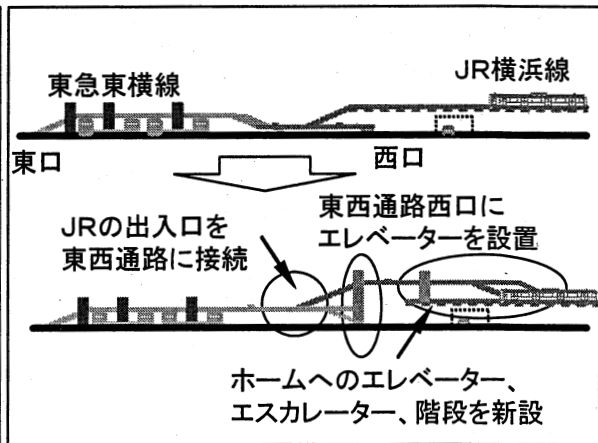
4 交通結節点の整備

1億6,096万円 (3億4,350万円)

山手駅や菊名駅等の改良を鉄道事業者と行っています。



山手駅の改良イメージ図



菊名駅の改良イメージ図

※ 上記のイメージ図は現時点での計画図であり、変更する場合があります。

5 市営自動車駐車場の管理運営12億4,615万円 (12億7,841万円)

【自動車駐車場事業費会計】

都心部における路上駐車対策として、市営地下駐車場の管理運営を行います。

- ・福富町西公園地下駐車場
- ・ポートサイド地下駐車場
- ・馬車道地下駐車場
- ・山下町地下駐車場
- ・日本大通り地下駐車場
- ・伊勢佐木長者町地下駐車場

管理運営： 4億6,282万円 (4億3,374万円)

公債費等： 7億8,333万円 (8億4,467千円)

6 都心部における新たな交通システム導入の検討【新規再掲】

375万円

都心部の回遊性向上を図るための新たな交通システムの導入について、都市整備局と連携して検討します。

7 その他

6億8,422万円 (7億4,661万円)

- ・自動車駐車場事業費会計操出金 6億8,233万円 (7億4,451万円)
- ・交通体系整備推進調査など 189万円 (210万円)

IV 河川整備

河川整備

台風や集中豪雨から市民の生命・財産や都市機能を守り、市民の安全・安心を確保するため、河川改修、流域貯留施設の整備及び河川施設の地震対策等を進めます。また、水と緑の基本計画に基づく快適な水環境の保全と創造を目指し、河川沿いの歩行空間や市民が水に近づきやすい環境の整備等を実施します。

1 河川改修 26億3,410万円〈30億7,010万円〉(30億6,357万円)

護岸改修や流域での貯留対策等と合わせ、時間降雨量約50mmに対応できる総合的な治水対策を進めます。

(1) 都市基盤河川改修事業

護岸改修、河川改修に伴う橋梁の架替え等を実施します。

- ・今井川 JR岩間川橋りょう工事(保土ヶ谷区岩井町)
- ・帷子川 護岸改修(旭区川井宿町)
- ・和泉川 護岸改修(泉区和泉町、瀬谷区二ツ橋町)
- ・いたち川 神戸橋の架替え(栄区上郷町) ☆

など8河川



今井川(JR岩間川橋りょうのイメージパースおよび施工状況)

(2) 準用河川改修事業

河川改修に伴う橋梁の架替え等を実施します。

- ・準用舞岡川 舞岡橋の架替え(戸塚区舞岡町)
- ・準用奈良川 奈良橋の架替え(青葉区奈良町)

など2河川

2 流域貯留施設の整備 6,000万円 (1億900万円)

総合的な治水対策として、局地的大雨の対策にも有効な流域貯留施設の整備を実施します。

- ・鶴見小学校 貯留施設の整備(鶴見区鶴見中央)

1箇所

3 河川環境の整備 1億526万円〈1億2,526万円〉(2億2,279万円)

快適な水環境を目指し、プロムナード整備等を実施します。

- ・アユを指標種とした、河川環境の再生・保全を図るための検討・調査等(帷子川アクションプラン策定) 【新規再掲】
- ・日野川 プロムナード整備(港南区日野七丁目) など7河川

4 河川施設の地震対策等 1億2,000万円 (0万円)

河川施設の地震対策等を進めることで、被災時の機能維持に努めます。

- ・エマージェンシーエネルギーによる緊急時の警報装置等バックアップ電源確保の検討・調査等(緊急時対策)◎ 【新規再掲】
- ・鳥山川 護岸改良(地震対策検討等) ☆◎

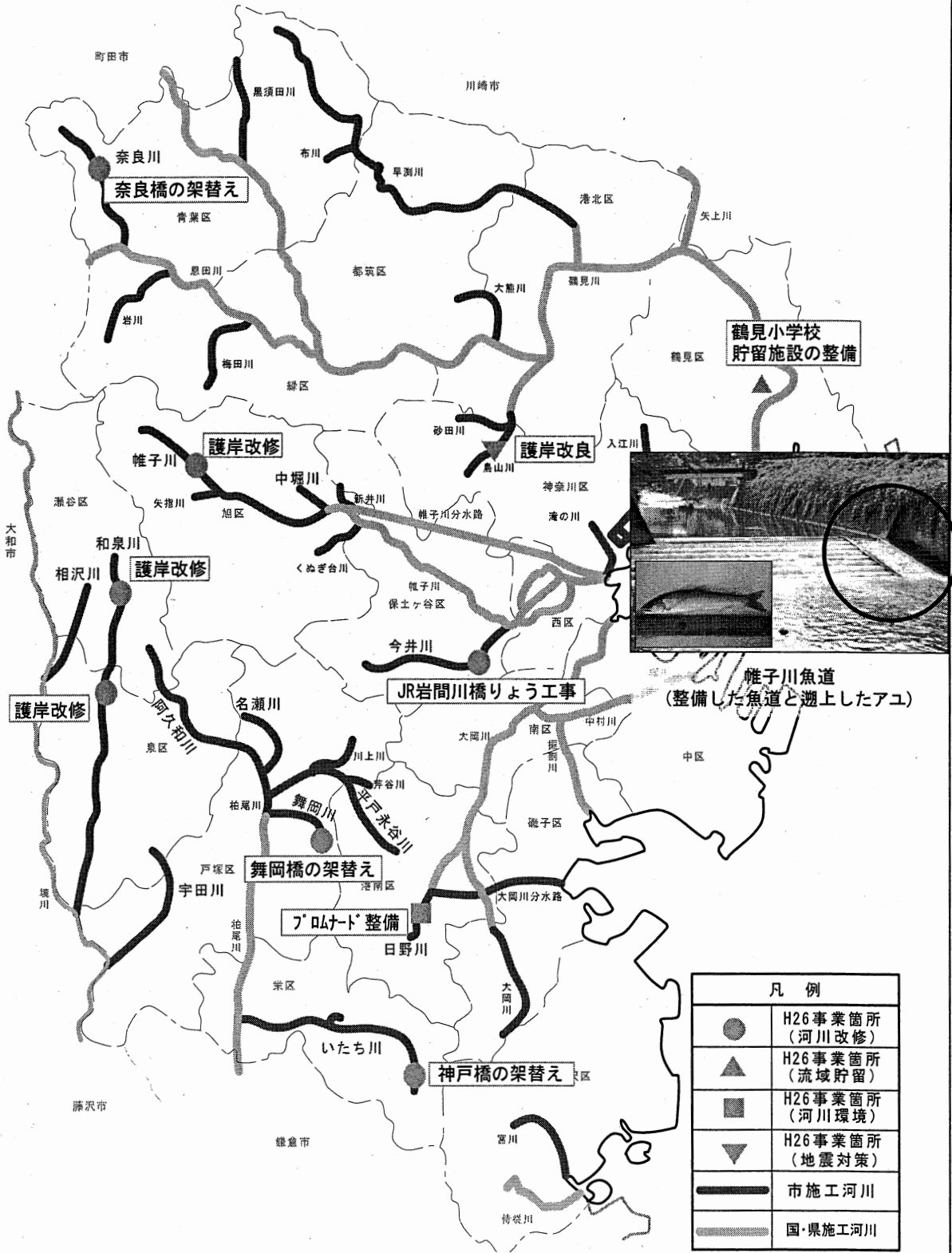
1河川



警報装置

IV 河川整備

主な事業箇所（河川整備）



V 河川等の維持・管理

河川等の維持・管理

河川及び水路の維持管理を行うほか、水辺愛護会活動を積極的に支援し、地域の水辺環境を良好に保つとともに河川愛護意識の醸成を図ります。

また、水防災情報システムによる水位情報の提供を行い、浸水被害を軽減するための取組を進めます。

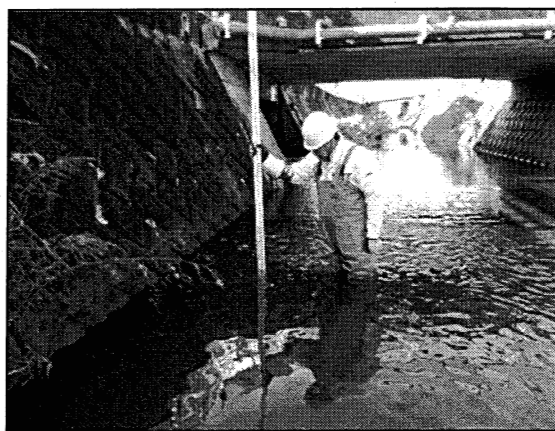
1 河川・水路等の維持・管理 8億9,943万円 (8億4,771万円)

(1) 日常の維持管理 8億1,165万円 (8億3,193万円)

- ・ 本市管理の河川、水路、河川遊水地、雨水調整池、流域貯留浸透施設などについて、しゅんせつや除草等の維持管理を行い、流水・貯留機能等を維持することにより、浸水被害の軽減を図ります。◎
- ・ 老朽化した護岸や水路等の管理施設の補修を行います。◎
- ・ 毎年実施している河川点検結果を踏まえ、緊急に修繕が必要な箇所について、適切な対応を行います。◎



砂田川の河川点検



長寿命化に向けた詳細調査(河床測量)

(2) 施設の長寿命化に向けた取り組み 8,778万円 (1,578万円)

護岸等施設の長寿命化に向けて、24年度から詳細調査を実施しておりますが、25年度までには、17河川の保全計画を策定し、26年度はさらに14河川の保全計画の策定を進めます。また、26年度から老朽化対策として、計画的な維持修繕工事を実施します。◎

【横浜市が維持管理する河川等】◎

・ 一級河川 (権限委譲河川)	3 河川	5,980m
・ 二級河川 (権限委譲河川)	2 河川	8,440m
・ 二級河川 (都市基盤河川)	10河川	39,685m
・ 準用河川	25河川	31,768m
・ 水路		約2,100km
・ 河川遊水地等	9 箇所	

【その他の管理施設】◎

・ 雨水調整池	221箇所
・ 流域貯留浸透施設	82箇所

V 河川等の維持・管理

2 水政事業

2,170万円 (2,568万円)

河川・水路占用許可、水路改廃、油等の浮遊物処理などの河川・水路の適正管理を行います。

また、地域の水辺環境を良好に維持することを目的とした水辺愛護会活動への支援など、市民との協働による美化活動等を進め、河川愛護意識の醸成を図ります。

- ・水辺愛護会 91団体



砂田川(下村橋～道慶橋)水辺愛護会



平戸永谷川水辺愛護会

3 水防事業

8,059万円 (6,956万円)

河川・水路からの洪水等による浸水被害軽減や親水拠点における水難事故未然防止のため、水防災情報システム及び親水拠点警報装置等の保守管理を行います。

水防災情報システムにおける情報提供を確実にを行うため、水位計の定期点検を行うとともに計画的に更新を行います。

また、各区土木事務所の水防資機材の備蓄・整備を行います。

- ・水防災情報システム：27河川(水位計情報59箇所、遊水地情報8箇所)
- ・親水拠点警報装置：18箇所
- ・親水拠点等の保守点検及びしゅんせつ等 ◎

水防災システム 監視カメラ映像



平常時



降雨時 (平成25年8月21日、都筑区)

市民の安全・安心、防災対策に関する事業【再掲】

※各事業で一部重複があります。

◎ 道路・河川施設等の保全 ～市民の生命、財産に関わる重要都市基盤の保全～

高度経済成長期に集中して整備された道路・河川施設等の老朽化が進行してきていることから、市民の安全・安心の確保を図り、次世代に良質な社会資本を継承するため、点検・修繕・耐震補強等の保全を推進します。

道路構造物・施設等	事業内容	予算額 〈経済対策を含んだ額〉
1 橋梁	橋梁の修繕、架替え、耐震補強	3,593,288千円 〈4,055,288千円〉
2 歩道橋	歩道橋の老朽化対策・修繕、耐震補強	608,750千円 〈674,750千円〉
3 トンネル・地下道	トンネル・地下道の修繕	90,000千円 〈186,200千円〉
4 河川施設等	河川施設等の維持・修繕・地震対策等	781,970千円
5 道路舗装	道路舗装の補修等	8,460,004千円 〈9,960,004千円〉
6 交通安全施設	照明灯の補修、道路案内標識等の撤去新設	469,245千円
7 自動車駐車場運営事業	自動車駐車場の修繕等 (自動車駐車場会計)	215,592千円
8 その他施設等	昇降機、地下広場、共同溝、街路樹、自転車駐車場等の管理等	1,700,762千円
計		15,919,611千円 〈18,043,811千円〉

◇ 通学路の交通安全の確保 ～子どもたちの安全・安心の確保～

平成24年4月以降、登下校中の児童等が死傷する事故が相次いで発生したことを受け、全国で通学路の交通安全の確保に向けた取組を進めています。

横浜市においては、昭和47年からスクールゾーン活動を開始するとともに、道路局ではハード・ソフト両面の対策を積極的に実施しています。また、平成25年度に立ち上げた通学路交通安全対策プロジェクトによるモデル事業を推進し、通学路の交通安全の確保を図ります。

事業名	事業内容	予算額 〈経済対策を含んだ額〉
1 通学路交通安全対策プロジェクト	モデル事業を推進するため、プロジェクトで事業化に向けた検討を行います。	9,000千円
2 歩道等の整備	児童が安心して通学できる歩行空間を形成するため、歩道の設置や拡幅等を行います。	514,718千円 〈798,918千円〉
3 あんしんカラーベルト	警察署・地元町内会・学校と連携し、路側帯の拡幅・カラー化を行い歩行者空間を確保します。(約32km)	102,250千円
4 交通安全推進事業	児童が安全な歩き方などを学ぶ「はまっ子交通あんぜん教室」の開催するとともに、スクールゾーンでの交通安全活動を推進します。	17,500千円
計		643,468千円 〈927,668千円〉

市民の安全・安心、防災対策に関する事業【再掲】

☆ 地震防災対策 ～市民の生命を守り、被害を最小限にとどめる対策～

地震により道路や河川に大きな被害が生じた場合、消防活動や緊急物資の輸送を遅延させ、その後の災害応急対策や復旧対策などに重大な支障をきたし、市民生活や経済活動にも計り知れない影響を及ぼすこととなります。

道路局では、大規模な地震が発生した場合でも道路の機能を維持し続けるために、地震防災対策を推進します。

事業名	事業内容	予算額 〈経済対策を含んだ額〉
1 緊急輸送路等の整備	高速道路や幅員18m(4車線相当)以上の幹線道路を整備することで、緊急輸送路の拡幅や緊急輸送路とする予定の路線の新設を進めます。 また、防災に役立つ一般道路の整備も進めます。	25,378,672千円 〈30,838,672千円〉
2 緊急輸送路等の地震対策	橋梁・歩道橋の耐震補強、電線共同溝の整備、道路がけの点検や路面下の空洞調査を実施します。 また道路台帳をデジタル化し、バックアップすることで道路台帳を確実に保管します。 (道路管理高度化システム構築)	2,548,788千円 〈2,865,588千円〉
3 延焼遮断帯の形成に資する都市計画道路の整備	地震被害想定による延焼被害の対策として、延焼遮断帯の形成に資する都市計画道路の整備を推進します。 ※「1 緊急輸送路等の整備」と一部重複があります。	73,200千円
4 河川護岸等の地震対策等	緊急輸送路や鉄道等と隣接する区域や沿岸域の河川施設について、地震対策の検討や調査を推進します。	115,000千円
計		28,085,160千円 〈33,861,960千円〉

◆ 20、21頁に再掲の各事業については本文中に次の印をしています。

- ・道路・河川施設等の保全・・・◎
- ・通学路の交通安全の確保・・・◇
- ・地震防災対策・・・☆

平成26年度道路局予算

(単位：千円)

	26年度予算	25年度予算	増▲減額	増▲減率
一般会計	66,885,626	64,634,959	2,250,667	3.5%
12款 道路費	65,251,254	62,854,397	2,396,857	3.8%
1項 道路維持管理費	21,829,049	22,410,252	▲ 581,203	▲ 2.6%
1目 道路行政総務費	6,781,122	6,765,139	15,983	0.2%
2目 道路用地整理費	90,505	76,539	13,966	18.2%
3目 道路台帳整備費	238,737	247,536	▲ 8,799	▲ 3.6%
4目 道路等管理費	2,694,698	2,555,828	138,870	5.4%
5目 道路等維持費	9,689,245	10,517,046	▲ 827,801	▲ 7.9%
6目 交通安全推進・放置自転車等対策費	2,334,742	2,248,164	86,578	3.9%
2項 道路整備費	39,501,133	36,105,828	3,395,305	9.4%
1目 交通安全施設等整備費	727,063	691,636	35,427	5.1%
2目 交通輸送対策費	171,111	197,540	▲ 26,429	▲ 13.4%
3目 道路特別整備費※	9,297,910	9,395,527	▲ 97,617	▲ 1.0%
4目 街路整備費	20,351,989	17,584,718	2,767,271	15.7%
5目 高速道路等整備費	4,355,338	3,841,407	513,931	13.4%
6目 道路費負担金	4,597,722	4,395,000	202,722	4.6%
3項 河川費	3,921,072	4,338,317	▲ 417,245	▲ 9.6%
1目 河川管理費	951,710	942,955	8,755	0.9%
2目 河川整備費	2,969,362	3,395,362	▲ 426,000	▲ 12.5%
17款 特別会計繰出金	1,634,372	1,780,562	▲ 146,190	▲ 8.2%
1項10目 自動車駐車場事業費会計繰出金	682,326	744,507	▲ 62,181	▲ 8.4%
1項12目 公共事業用地費会計繰出金	604,825	711,031	▲ 106,206	▲ 14.9%
1項16目 自動車事業会計繰出金	347,221	325,024	22,197	6.8%

※25年度までの「12款1項5目 路面下空洞調査事業費、交通安全施設補修費、道路がけ防災対策事業費、歩道橋長寿命化及び耐震対策推進事業費」を「12款2項3目 道路特別整備費」に統合

(単位：千円)

	26年度予算	25年度予算	増▲減額	増▲減率
特別会計 自動車駐車場事業費会計	1,246,148	1,278,412	▲ 32,264	▲ 2.5%
1款 自動車駐車場事業費	1,246,148	1,278,412	▲ 32,264	▲ 2.5%
1項 運営費	462,822	433,742	29,080	6.7%
1目 自動車駐車場運営費	462,822	433,742	29,080	6.7%
2項 公債費	782,326	843,670	▲ 61,344	▲ 7.3%
1目 元金	699,885	742,506	▲ 42,621	▲ 5.7%
2目 利子	82,340	100,746	▲ 18,406	▲ 18.3%
3目 公債諸費	101	418	▲ 317	▲ 75.8%
3項 予備費	1,000	1,000	0	0.0%
1目 予備費	1,000	1,000	0	0.0%

1	(12款1項1目) 道路行政総務費	道路行政全般にかかる諸経費の支出を行います。	
	本年度	千円 6,781,122	1 職員人件費 6,735,354千円 (6,653,511) ・一般職 775人、短時間勤務職員73人
	前年度	6,765,139	2 技術監理費 15,881千円 (17,881) ・労務・資材費調査委託費及び技術研修等にかかる経費
	差引	15,983	3 総務管理費等 29,887千円 (93,747) ・局内の事務費集約にともなう消耗品費及び庁用備品費等
本年度の財源	国・県支出金	0	
	使用料	0	
	諸収入等	88	
	市債	0	
	一般財源	6,781,034	

2	(12款1項2目) 道路用地整理費	私道から公道に移管するために必要となる測量費及び公図訂正をするための測量費を助成します。	
	本年度	千円 90,505	1 公道移管助成費 82,291千円 (67,291) ・公道移管測量費助成金 ・公図混乱地域内測量費助成金
	前年度	76,539	2 路線管理システム及び財産管理システム費 1,490千円 (2,524) ・システムの運用・保守等にかかる経費
	差引	13,966	3 認定路線管理費 6,724千円 (6,724) ・議案参考図作成委託費等
本年度の財源	国・県支出金	0	
	使用料	0	
	諸収入等	0	
	市債	0	
	一般財源	90,505	

3	(12款1項3目) 道路台帳整備費	道水路等境界調査及び、道路法に定められている道路台帳の整備等を行います。	
	本年度	千円 238,737	1 道水路等境界調査費 134,580千円 (133,590) ・道路及び水路等と民有地との境界を確定する経費
	前年度	247,536	2 道路台帳整備費 104,157千円 (113,946) ・道路台帳整備のための測量・調査費等
	差引	▲ 8,799	
本年度の財源	国・県支出金	0	
	使用料	4,392	
	諸収入等	2,946	
	市債	0	
	一般財源	231,399	

4		(12款1項4目) 道路等管理費	
本年度		千円 2,694,698	
前年度		2,555,828	
差引		138,870	
本年度の財源	国・県支出金	0	
	使用料	1,128,618	
	諸収入等	457,153	
	市債	0	
	一般財源	1,108,927	
<p>歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路の適切な管理を行います。</p> <p>1 道路管理事業費 58,404千円 (49,951) ・道路占用・掘削許可、貸付地管理、道路原因事故の賠償等</p> <p>2 道路管理システム運用事業費 103,782千円 (105,399) ・道路管理システムの運用</p> <p>3 ハマロード・サポーター事業費 8,203千円 (8,194) ・ハマロード・サポーターの活動支援</p> <p>4 道路清掃費 645,793千円 (574,293) (前年度は、アフリカ開発会議の開催に伴う施設管理強化費 1,500千円を含む) ・道路、駅前広場等の清掃</p> <p>5 道路照明費 1,192,970千円 (1,065,270) ・道路照明灯の維持管理</p> <p>6 エレベーター等管理費 409,923千円 (465,214) ・エレベーター・エスカレーター等の維持管理</p> <p>7 共同溝管理費 249,392千円 (257,408) (前年度はアフリカ開発会議の開催に伴う施設管理強化費 1,000千円を含む) ・みなとみらい21及び港北ニュータウン共同溝の維持管理 ・みなとみらい21共同溝の施設補修</p> <p>8 自由通路管理費 23,789千円 (27,510) ・大船駅北口等の自由通路の維持管理</p> <p>9 高架下等有効活用事業費 2,442千円 (2,589) ・検討会運営費等</p>			

5		(12款1項5目) 道路等維持費	
本年度		千円 9,689,245	
前年度		10,517,046	
差引		▲ 827,801	
本年度の財源	国・県支出金	16,280	
	使用料	4,494,283	
	諸収入等	24,000	
	市債	0	
	一般財源	5,154,682	
<p>道路の安全を維持するために道路の修繕を行うほか、街路樹の維持管理を行います。</p> <p>1 道路修繕費 8,460,004千円 (9,485,718) ・道路の計画的な修繕や緊急を要する舗装修繕等 ・舗装の補修時期に合わせた低騒音舗装の実施</p> <p>2 すず風舗装整備費 12,600千円 (14,000) ・舗装表面の温度上昇を抑制する、すず風舗装の実施</p> <p>3 私道対策事業費 77,850千円 (86,500) ・私道整備助成、私道整備</p> <p>4 街路樹管理事業費 1,138,791千円 (930,828) (前年度はアフリカ開発会議の開催に伴う施設管理強化費 9,100千円を含む) ・街路樹及び植樹帯の維持管理 ・街路樹保全のための改良工事</p>			

6		(12款1項6目) 交通安全推進・ 放置自転車等対策費		<p>各季の交通安全運動等や交通安全教育を行うとともに、駅周辺の歩行者の通行、安全確保のため、自転車等放置防止対策を進めるとともに、自転車駐車場の管理運営を行います。</p> <p>1 放置自転車等移動・保管事業費 423,988千円 (382,322) ・市内114駅周辺の放置禁止区域に放置された自転車の移動等</p> <p>2 有料自転車駐車場運営事業費 1,659,432千円 (1,614,712) ・市内238箇所、約98,000台の有料自転車駐車場の運営</p> <p>3 自転車マナーアップ事業費 201,500千円 (208,655) ・自転車マナーアップ監視員の配置</p> <p>4 民営施設整備助成費 20,000千円 (10,000) ・民営自転車駐車場建設に対する補助</p> <p>5 交通安全推進事業費 29,822千円 (32,475) ・交通安全実施計画の策定、交通安全の広報・啓発、交通安全教育</p>
本年度		千円 2,334,742		
前年度		2,248,164		
差引		86,578		
本年度の財源	国・県 支出金	0		
	使用料	2,170,140		
	諸収入等	11,150		
	市債	0		
	一般財源	153,452		

7		(12款2項1目) 交通安全施設等整備費		<p>歩行者の安全と円滑な道路交通を確保するため、交通安全施設や安全で快適に移動できる歩行空間を整備します。</p> <p>1 交通安全施設等整備費 362,434千円 (374,204) ・歩道、防護柵、案内標識、道路照明灯等の施設の整備</p> <p>2 自転車駐車場等整備費 312,379千円 (275,432) ・市営自転車駐車場の整備等</p> <p>3 あんしんカラーベルト事業費 52,250千円 (42,000) ・通学路等における路側帯のカラー化</p>
本年度		千円 727,063		
前年度		691,636		
差引		35,427		
本年度の財源	国・県 支出金	0		
	使用料	273,400		
	諸収入等	2,590		
	市債	0		
	一般財源	451,073		

8	(12款2項2目) 交通輸送対策費		<p>誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、バス交通施策の推進、駅舎改良等を進めます。</p> <p>1 横浜市生活交通バス路線維持支援事業 132,912千円(140,806) ・生活交通バス路線の運行に関する補助金等</p> <p>2 地域交通サポート事業 24,145千円(15,000) ・地域交通サポート事業検討業務委託費、実証運行赤字補填費等</p> <p>3 まちのバリアフリー化推進調査費 12,164千円(11,110) ・基本構想策定業務委託費等 南区：阪東橋駅・黄金町駅周辺地区【区】 青葉区</p> <p>4 交通体系整備推進調査費 1,890千円(2,100) ・人口動向を踏まえた地域交通の方向性の検討等</p> <p>5 バス活性化対策事業 0千円(3,024) ・バスロケーションシステム導入に関する補助金 (H26年度は対象案件なし)</p> <p>6 鉄道駅総合改善事業補助金 0千円(25,500) ・京急蒲田駅総合改善事業に関する補助金(地中梁、駅舎工事等) (H25年度中に完成し、事業終了しました。)</p> <p>※【区】…地域課題解決のため区の財源を活用し、局が予算を編成・執行する「区局連携事業」</p>
	本年度	千円 171,111	
	前年度	197,540	
	差引	▲ 26,429	
本年度の財源	国・県支出金	3,300	
	使用料	0	
	諸収入等	0	
	市債	0	
	一般財源	167,811	

9	(12款2項3目) 道路特別整備費		<p>幹線道路や歩道等の整備、電線共同溝の整備、踏切安全対策やバリアフリーの推進、道路や橋梁の地震対策、及び点検や老朽化対策を実施します。</p> <p>1 幹線道路の整備</p> <p>(1) 都市計画道路の整備 1,945,891千円(1,347,940) ・上郷公田線(公田地区：栄区) ・環状4号線(上瀬谷地区：瀬谷区)など</p> <p>(2) 国道の整備 48,000千円(604,000) ・国道1号(不動坂交差点：戸塚区)など</p> <p>(3) 連続立体交差事業 2,000千円(7,000) ・市道天王町第99号線(保土ヶ谷区)</p> <p>2 地域道路の整備</p> <p>(1) 道路改良の推進 1,703,176千円(2,019,940) ・県道青砥上星川(上菅田地区：保土ヶ谷区)など</p> <p>(2) 踏切安全対策の推進 134,000千円(47,700) ・生見尾踏切(鶴見区)など</p> <p>(3) あんしんカラーベルトの整備 50,000千円(50,000) ・市道新吉田303号線(港北区)など</p> <p>(4) バリアフリーの推進 87,000千円(107,000) ・市道上飯田第315号線 (いずみ中央駅・立場駅周辺地区：泉区)など</p> <p>(5) 電線共同溝の整備 413,000千円(382,000) ・市道下末吉第161号線(鶴見区)など</p>
	本年度	千円 9,297,910	
	前年度	9,395,527	
	差引	▲ 97,617	
本年度の財源	国・県支出金	3,703,935	
	使用料	0	
	諸収入等	72,921	
	市債	3,677,000	
	一般財源	1,844,054	

3 道路の維持・管理

- (1) 交通安全施設の補修 383,374千円 (394,208)
 - ・防護柵、案内標識等の施設の補修
 - ・道路照明灯のLED化
- (2) 歩道橋の維持・管理 608,750千円 (718,800)
 - ・歩道橋長期保全計画に基づく長寿命化の推進
 - ・地震時の歩道橋の損傷防止のための耐震対策の推進
- (3) 施設管理 132,900千円 (141,500)
 - ・道路台帳のデジタル化
 - ・路面下空洞調査
 - ・道路がけの点検
- (4) 低騒音舗装の整備 0千円 (45,000)
 - ・平成26年度は道路等維持費で実施

4 橋梁・トンネル等の維持・管理

- (1) 橋梁の地震対策 1,030,100千円 (541,000)
 - ・市道六浦平潟線第7179号線 (夕照橋：金沢区)
 - ・市道浦島第118号線 (新浦島橋：神奈川区) など
- (2) 橋梁の老朽化対策 2,455,063千円 (2,545,083)
 - ・市道生麦第208・220号線 (大黒高架橋：鶴見区)
 - ・市道蒔田第76号線 (天神橋：磯子区) など
- (3) トンネル・地下道の補修 90,096千円 (50,356)
 - ・市道今井第249号線 (今井町隧道：保土ヶ谷区) など

5 地域交通対策

- (1) 自転車交通対策 53,600千円 (76,000)
 - ・市道高島台第295号線 (西区)
 - ・自転車駐車場の点検など
- (2) 交通結節点の整備 160,960千円 (318,000)
 - ・山手駅 (中区)、菊名駅 (港北区)

10	(12款2項4目) 街路整備費		横浜環状北西線整備事業や都市計画道路等の整備を実施しま す。	
	本年度	千円 20,351,989	1	高速道路の整備 3,132,000千円 (2,928,200) ・横浜環状北西線整備事業
	前年度	17,584,718	2	幹線道路の整備
	差引	2,767,271	(1)	都市計画道路の整備 12,046,239千円 (10,182,518)
本 年 度 の 財 源	国・県 支出金	8,241,013	<ul style="list-style-type: none"> ・岸谷生麦線 (鶴見区) ・横浜藤沢線【上永谷舞岡地区】 (港南区・戸塚区) ・鴨居上飯田線【本宿二俣川地区】 (旭区) ・金沢シーサイドライン (金沢区) ・宮内新横浜線【新吉田高田地区】 (港北区) ・大田神奈川線【馬場地区】 (鶴見区) ・山下長津田線【鴨居地区】 (緑区) ・桂町戸塚遠藤線【上倉田戸塚地区】 (戸塚区) ・環状3号線【戸塚地区】 (戸塚区) ・環状4号線【公田桂町地区】 (栄区) ・権太坂和泉線【名瀬岡津地区・和泉地区】 (戸塚区・泉区) ・中田さちが丘線【岡津地区】 (泉区) 	
	使用料	0	など	
	諸収入等	372,076	(2)	相模鉄道 (星川～天王町駅) 連続立体交差事業 1,020,000千円 (191,000)
	市債	6,429,000	<ul style="list-style-type: none"> ・相模鉄道 (星川～天王町駅) 連続立体交差事業 	
	一般財源	5,309,900	(保土ヶ谷区) など	
			(3)	一般財団法人横浜市道路建設事業団への補助 4,000,000千円 (4,000,000)
			3	都心部における新たな交通システム導入の検討 3,750千円 (0)
			4	橋梁・トンネル等の維持・管理
			(1)	老朽橋の架替え等 150,000千円 (100,000) ・内海川跨線人道橋 (西区)
			5	地域道路の整備 0千円 (183,000) ・市道山手元町線 (中区) 歩道再整備、電線共同溝の整備 (H25年度終了)

11		(12款2項5目) 高速道路等整備費		<p>市民生活の利便性の向上、経済活動の活性化に向け、高速道路ネットワーク整備を積極的に進めるとともに、高速道路に関する道路の整備等を進めます。</p> <p>横浜環状道路の南線（横浜横須賀道路～国道1号）・北線（第三京浜～横羽線）及び北西線（東名高速～第三京浜）については、関連街路を含め、引き続き整備を進めます。</p> <p>また、高速道路、鉄道駅が近接する東急田園都市線江田駅周辺をモデルに、新しい交通結節点に道の駅など複合的な機能を持たせて整備する方策について検討します。</p> <p>1 横浜環状道路関連街路調査費 16,500千円 (16,500) ・南線及び北線の広報や関連街路の予備設計等</p> <p>2 首都高速道路整備（横浜環状北線・北西線）に対する出資金 4,297,000千円 (3,798,000)</p> <p>3 高速道路・鉄道等官民交通連携調査費 20,000千円 (0)</p> <p>4 高速道路調査事務費等 21,838千円 (26,907)</p>
本年度		千円 4,355,338		
前年度		3,841,407		
差引		513,931		
本年度の財源	国・県 支出金	20,000		
	使用料	0		
	諸収入等	30,628		
	市債	4,297,000		
	一般財源	7,710		

12		(12款2項6目) 道路費負担金		<p>国直轄事業（国道）に対して、道路法にもとづき負担金を支出します。</p> <p>1 国道468号横浜環状南線及び横浜湘南道路 2,499,625千円 ・首都圏中央連絡自動車道等の改築 (1,989,111) (幹線道路ネットワーク整備)</p> <p>2 国道357号東京湾岸道路 1,371,745千円 (1,240,277) (本牧地区)</p> <p>3 国道16号電線共同溝の整備 など 726,352千円 (1,165,612)</p>
本年度		千円 4,597,722		
前年度		4,395,000		
差引		202,722		
本年度の財源	国・県 支出金	122,223		
	使用料	0		
	諸収入等	0		
	市債	4,475,000		
	一般財源	499		

(12款3項1目)		
河川管理費		
本年度	千円 951,710	
前年度	942,955	
差引	8,755	
本年度の財源	国・県 支出金	0
	使用料	148,690
	諸収入等	4,847
	市債	0
	一般財源	798,173

河川及び水路の維持管理を行うほか、水辺愛護会活動を積極的に支援し、地域の水辺環境を良好に保つとともに河川愛護意識の醸成を図ります。

また、水防災情報システムによる水位情報の提供を行い、浸水被害を軽減するための取組を進めます。

- 1 河川・水路等維持管理事業費 849,426千円 (847,712)
 - ・河川や雨水調整池等の治水施設のしゅんせつ、除草等
 - ・老朽化した護岸や水路等の管理施設の補修等
 - ・河川点検結果を踏まえ、緊急修繕を行うとともに施設の長寿命化に向けた保全計画策定
 ※護岸等の計画的な維持・修繕（老朽化対策）
老朽化対策事業費50,000千円は河川整備費にて計上
- 2 水政事業費 21,699千円 (25,682)
 - ・河川・水路占用許可、水路改廃、油等の浮遊物処理
 - ・水辺愛護会活動への支援など市民との協働による美化活動の推進
- 3 水防事業費 80,585千円 (69,561)
 - ・水防災情報システムによる水位や画像等の市民への情報提供
 - ・水防資機材の備蓄・整備
 - ・水位計の更新（4台）

(12款3項2目)		
河川整備費		
本年度	千円 2,969,362	
前年度	3,395,362	
差引	▲ 426,000	
本年度の財源	国・県 支出金	1,404,796
	使用料	0
	諸収入等	0
	市債	826,000
	一般財源	738,566

台風や集中豪雨から市民の生命・財産や都市機能を守るため、河川の改修や流域貯留施設の整備を進めるとともに、護岸等の改良や計画的な維持・修繕により河川施設の機能維持に努めます。

また、快適な水環境の保全と創造を目指し、河川沿いの歩行空間や市民が水に近づきやすい環境の整備等を推進します。

- 1 河川の改修 2,634,100千円 (3,063,574)
 - (1) 都市基盤河川改修事業費
 - ・今井川 JR岩間川橋梁工事（保土ヶ谷区岩井町）
 - ・帷子川 護岸改修（旭区川井宿町）
 - ・いたち川 神戸橋の架替え（栄区上郷町） など
 - (2) 準用河川改修事業費
 - ・準用舞岡川 舞岡橋の架替え（戸塚区舞岡町） など
- 2 流域貯留浸透事業費 60,000千円 (109,000)
 - ・鶴見小学校 貯留施設の整備（鶴見区鶴見中央）
- 3 河川環境整備事業費 105,262千円 (222,788)
 - ・アユを指標種とした、河川環境の再生・保全を図るための検討・調査等（帷子川アクションプラン策定）
 - ・日野川 プロムナード整備（港南区日野七丁目） など
- 4 河川改良・老朽化対策事業費 170,000千円 (0)
 - ・エマージェンシーエネルギーによる緊急時の警報装置等バックアップ電源確保の検討・調査等（緊急時対策）
 - ・鳥山川 護岸改良（地震対策検討等）
 - ・護岸等の計画的な維持・修繕（老朽化対策）
 ※老朽化対策事業費50,000千円を含む など

15	(17款) 特別会計繰出金	自動車駐車場事業費会計、公共事業用地費会計及び生活交通バス路線維持支援事業に繰り出します。	
	本年度	千円 1,634,372	
	前年度	1,780,562	
	差引	▲ 146,190	
本年度の財源	国・県支出金	0	1 自動車駐車場事業費会計繰出金 682,326千円 (744,507) ・自動車駐車場事業費会計への繰出金
	使用料	0	2 公共事業用地費会計繰出金 604,825千円 (711,031) ・都市開発資金の償還のための公共事業用地費会計への繰出金
	諸収入等	0	3 横浜市生活交通バス路線維持支援事業 347,221千円 (325,024) ・自動車事業費会計への繰出金
	市債	0	
	一般財源	1,634,372	

16	(特別会計) 自動車駐車場事業費会計	安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。	
	本年度	千円 1,246,148	
	前年度	1,278,412	
	差引	▲ 32,264	
本年度の財源	国・県支出金	38,500	1 自動車駐車場運営費 462,822千円 (433,742) 四輪 二輪
	使用料	414,402	・福富町西公園地下駐車場 184 台
	諸収入等	110,920	・ポートサイド地下駐車場 200 台
	市債	0	・馬車道地下駐車場 200 台 25 台
	一般会計繰入金	682,326	・山下町地下駐車場 193 台 26 台
			・日本大通り地下駐車場 200 台
			・伊勢佐木長者町地下駐車場 200 台
			2 公債費 782,326千円 (843,670)
			3 予備費 1,000千円 (1,000)



OPEN
YOKOHAMA

平成26年度 横浜市道路局運営方針

横浜の未来を切り拓くため、都市基盤の整備や維持管理、防災・減災対策を、組織を横断して力を結集し「チーム道路」で積極果敢に進めます！

基本目標

目標達成に向けた施策

①市民生活の安全の確保

～防災・減災対策や施設の保全を進め、安全なまちへ！～

- ・強靱な防災・減災機能を備えた都市を目指し、「横浜市地震防災戦略」に基づく緊急輸送路の整備や橋梁・河川護岸等の地震対策、総合的な治水対策を推進するための河川の整備など、防災・減災対策を推進します。
- ・横浜の成長を支えてきた都市基盤の多くが老朽化してきており、道路・河川施設を計画的に保全し、長寿命化を図るなど、適切な維持管理を進めます。
- ・通学路や踏切をはじめ、子どもや高齢者など誰もが安全に利用できる道路空間の整備や交通安全啓発を進めます。

②横浜経済の活性化

～都市基盤の整備を進め、活力ある豊かなまちへ！～

- ・強さを備えた都市や豊かな未来を目指し、人やモノの移動、国際都市横浜における多様な交流・連携を支え、市民生活の利便性の向上や、経済の活性化を実現するため、効率的で効果的な道路ネットワーク等の充実を図ります。特に、本市の骨格となる高速道路の横浜環状道路については、スピード感を持って整備に取り組みます。また、道路整備の機会を捉え、IC周辺、幹線道路沿道、交通結節点をはじめ、道路の周辺地域のよりよいまちづくりに取り組めます。
- ・道路・河川事業の実施にあたっては、横浜市中小企業振興基本条例の趣旨を踏まえて、市内中小企業の受注機会の確保に努めます。

③魅力あるまちづくり

～生活・自然環境を向上し、住み続けたいまちへ！～

- ・アユが遡上する川づくりなど生物多様性に配慮した河川の環境整備や、都心部の回遊性向上を図るための新たな交通システムの導入の検討など、まちの魅力を創ります。
- ・道路整備による渋滞改善や道路照明の省エネ化など、環境に対する取組を推進します。
- ・超高齢社会への対応を図るため、バリアフリー化に加え、魅力ある歩行空間の整備や地域交通対策など、街歩きを促す環境を整備し「健康みちづくり」を進めます。

目標達成に向けた組織運営

①積極的な情報収集・提供

社会情勢の変化を先取りし、柔軟な対応をしていくため、また、より多くの市民の皆様が事業をご理解していただくため、積極的な情報収集・提供を行います。



地域での事業説明

②市民との協働

ハマロードサポーターや水辺愛護会など、市民の皆様と行政が、お互いに協力し合い、地域や社会の課題に協働で取り組みます。



水辺愛護会による河川の美化活動

③満足度向上に向けた迅速な対応

市民目線で、市民の皆様が必要とする整備などを行うため、先手先手で対応を行うとともに、「市民の声」や土木事務所への要望に対し、迅速・適切に対応します。



計画的な保全のための歩道橋点検

④効果的な執行

整備効果が早期に現れるよう、完成間近な事業や、防災・減災対策事業などについて、選択と集中を図り、スピード感を持って事業を進めます。



横浜環状北線
(生麦鉄道交差部)

⑤組織を横断して力を結集し「チーム道路」で取り組みます！

長い年月を必要とする道路・河川の整備や、日々の維持管理を担っている道路局には、志をもって粘り強く事業に取り組むスピリッツ（魂）が息づいています。この道路局の「魂」とこれまで受け継がれてきた技術力を組織的に継承するなど人材育成に取り組むとともに、目標達成に向けて全市民的な広い視点をもちながら、組織を横断して力を結集し、「チーム道路」で職員全員が一丸となって前向きにチャレンジします。また、円滑なコミュニケーションや、ワークライフバランスを推進しながら、仕事の中で喜びと充実感（職員満足）をもてる、風通しの良い明るく元気な職場づくりを行います。